

出石藩

御用部屋日記

明治一年十月

出石町公民館蔵

明治元年

御在藏

日記

竹村十景

世有

荒本頼母

十月十日

江門府  
 文獻志  
 卷之八  
 地理志  
 一  
 江門府  
 文獻志  
 卷之八  
 地理志  
 一

竹村  
 荒村  
 同部  
 一  
 西平  
 大市  
 江門  
 西平  
 大市  
 江門  
 西平  
 大市  
 江門

火消

杜松  
 朱市  
 杜松  
 朱市

直坑

國都  
 廣野  
 國都  
 廣野

期日

一 例別生結類人之類相成類者日  
以秋成也

一 冲具類右同類法消也

一 着類類  
冲新道在右同類消也

一 着類類  
冲新道在右同類消也

一 着類類

一 先月中生華人之類相成類者日  
着類類

一 先月中生華人之類相成類者日  
着類類

一 冲具類右同類法消也  
冲具類右同類法消也

一 着類類

生輝海心

原八集門

百卷書

此書在

...

...

# 一 田圃人達

左邊下月...

...

...

# 二 田圃人達

...

...

...

...

...

...

...

...

...

毛澤東主席  
山莊

西一級  
十月

十月

十月

# 一 在道

十月

十月

十月

十月

二日

一 別封の不便は法道に於ては自體

一 別封

一 着郡の法門開拓は爲入事

一 皇野毒の海洋汚染新出の毒物生所  
銀の毒點検を以て佛系西人の日乳飲  
河原金の點検を以て佛系西人の日乳飲  
銀の點検を以て佛系西人の日乳飲

點検の是の如く成る事は所爲也  
石の古くは

別封

廣島

廣島

別封

廣島

別封

廣島

廣島

廣島

廣島

引卷

朱友

朝倉靜若

木下順助

豊田宗有

久世兼三郎

中山福丸

安宅春海

田代忠孝

長尾景春

岡本春房

人

〇月一四

長尾景春

中山福丸

久世兼三郎

人

人

人

〇月一四

引卷

二日

長尾景春

中山福丸

二日

長尾景春

中山福丸

二日

長尾景春

中山福丸

一 庄通国入心法

今教者通国  
律者通人  
通国入心法

通国入心法

通国入心法

一 庄通国入心法

通国入心法

通国入心法

通国入心法

通国入心法

一 庄通国入心法

通国入心法

通国入心法



十月百  
竹村十卷

口口口

此公之...  
...

一 古國...  
...

一 直...  
精忠隊

余...  
...

...

...

...

...

...

...

川崎洋行  
吉野山子佛堂  
民國十一年歲  
次

一通自叙

今秋修志... 崇善人因... 沖决... 縣... 街... 達...

辰九月

行政

有... 後... 右... 十... 竹...

從... 氏... 氏...

一 有... 福... 南... 中...

一 有... 通... 文... 武... 局... 月... 者... 了... 回... 山... 官... 自...

人... 侯

此... 度... 少... 子... 德... 友... 友... 元... 義... 義... 義...

練... 兵... 者... 五... 調... 助... 德... 德... 德... 德...

山... 子... 德... 德... 德... 德... 德... 德... 德... 德...

一 練... 兵... 者... 五... 調... 助... 德... 德... 德... 德...

成... 文... 之... 法... 不... 智... 古... 之... 政... 事...

有... 通... 下... 了... 侯... 官...

一 有... 通... 下... 了... 侯... 官...

志... 聖... 賢... 是...

德... 家... 收... 德... 德... 德... 德... 德... 德...

德... 家... 收... 德... 德... 德... 德... 德... 德...

肢... 節... 流... 通... 氣...

力... 法... 宜... 方... 取... 宜... 以... 和... 宜... 有...

一 京都大別便母改略二日限上首之  
一 用材主射、葛三、以下書後

一 片之海出 行有以文或角教女一海

以海言日飲事  
佛學萬人云誠有宗  
出後也 行有女自海  
出國紅海、行有女自海

有月之有海出後 小倉忠貞

一 有月之 到月  
一 有月之 富年  
一 片之海出後 行有女自海  
一 有月之 行有女自海

有月之 行有女自海

園林講義  
可別英會行  
二書金會也  
幼井易也

常一有月之

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

淡村  
荒尾  
井上  
井上  
南山  
稻垣

月

腹  
第

小林  
第  
第  
第  
第  
第  
第  
第  
第  
第

Vertical column of faint, illegible characters on the right edge of the page.

一点道

Horizontal line of characters below the first section header.

Horizontal line of characters, possibly including the characters "冲克" and "性公直美".

Horizontal line of characters, possibly including the characters "冲克" and "舍品斐文".

一点道

Vertical column of characters on the left side of the page, possibly including the characters "冲克" and "白田".

音

一 似日

廿二日 亥 庚辰

恒 易 象 消 復

卦 坤 上 艮 下 澤

以 消 陽 氣 也 故 曰 消

復 陽 氣 也 故 曰 復

名 丹 書

一 空 乃 休 業 盡 入 禾 地 山 巖 檢 成 以 類 有 今

之 日 欲 同 別 類 然 以 高 田 丹 中 以 使 心 古 訓  
以 進 於 大 道 也 月 採 古 恩 文 之 在 此 如  
然 余 靜 者 之 人 亦 在 此 矣 之 矣 何 以 知 之  
丹 中 以 類 之 一 也

贊

一 洵 翁

秋 翁

一 鶴

秋 翁

右 休 寧 堂

一 洵 翁

春 翁

右 秋 翁 侯 府 堂

一石目影

目影

右梳门徽念

一石瓶

石

一急火镜

急

右唐湖景

一瓶子

瓶

一急火镜

急

右徐金静香

一闲四格

右介口

一羊羹

一石瓶

右箱  
梳门徽念

一金章

右  
木村

一目或更

右  
佛人



即白

一纸日

寶圓虎標

此是日有日受命

虎見相母

古今朝古前律法  
中流冲急流清流外直

一信老流外

大直古以律法  
流外古大時

中流清流外

一信老流外

市無...

二友首直

市無...

市無...

一信老流外

市無... 月... 老...

卷之十

此乃美漢之...

津在府公...

卷之十...

...

...

...

...

百年...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此乃大南大德

冲霄浩气直冲霄

为君中令直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

一 口用人道

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

冲霄浩气直冲霄

市東初春... 沙雁

...

清早... 橋井...

井... 小出... 船... 上... 舍... 山... 中... 井... 文...

二夏送家  
村山在平  
依田市建  
志田在平  
中村在平  
中决在平  
高信在平

在田丹个

一 有春地... 佛... 人...  
一 佛人... 地... 境

... ..

一 伴... ..

... ..

一 有... ..

... ..

...

旨

一 例別生江以納戶 亦何江樓

一 江與極

一 江新道原在國所 江以

一 江中亦江中老翁 下

一 江因年江用高 江

一 何之江房所 江

一 江合 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 右通於

一 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

一 江 江

國語研究

有欲求其進步者必先求其基礎之固  
其基礎之固則其進步之速可知矣

中國文字之研究

中國文字之研究其目的在求其源流之正  
與其構造之理

研究文字之方法

一、考證法

二、比較法

有欲求其進步者必先求其基礎之固

其基礎之固則其進步之速可知矣

中國文字之研究其目的在求其源流之正

與其構造之理

研究文字之方法

一、考證法

二、比較法

有欲求其進步者必先求其基礎之固  
其基礎之固則其進步之速可知矣

中國文字之研究其目的在求其源流之正



一 夜 通 平 海 以 後

此 句 係 抄 錄 自 某 書 之 語 句 也 其 意 為 一 夜 通 平 海 以 後 之 事 也

久 友 香

六日

休自

圓骨院標

法志自育

留志自育

真志院標

有圓新育

留志自育

如珠院標

右介朝書勤族中逢子育逢

沙融 冲美門清以禮創是

沙大番

伴 每食

七日

一 例刻定法以他人為個以檢中

一 殿標 居部標 一用部 入筆

私儀... 部... 文... 記... 門...

中村...

一 左通...

河能...

... 總...

... 古田...

... 野...

是為在右...  
多身...  
中...  
...  
金...

右...  
增田...

折...  
...  
...  
...

一 用入

右...  
...

仲...  
...

目...  
...

一 左...  
...

江州府司  
加  
三  
上  
三  
三

一 友通 信  
國事  
自  
三

國事  
自  
三

一 友通 信  
三  
三  
三  
三

三  
三  
三  
三

一 友通 信

三  
三  
三  
三  
三

三

唐汝家青藜分一知通著  
津用拾年

有通與不 似會

一 且道游一用林會一消

書梅以畫筆  
行自能心志不齊  
沖克皆在動之機  
思良以心

河野市

一 且道自人自法

一 或人技得  
此

此  
華  
及

有通美以 益會全教改

小書

一 續文書

道  
果  
子

有通美以 益會全教改  
沖克皆在動之機

有通一 益會全教改

一貫金

東江流  
東江流

回

平月  
平月

海

東平  
東平

東平  
東平

東平  
東平

一貫金

父  
父

石  
石

世  
世

一 在 南 之 中 之 所 集 壽 者

保 有 之 人 或 曰 有 自 有 之 人 或 曰 有 自 有 之 人 或 曰

文 武 聖 賢 壽 者

保 有 之 人 或 曰

金 澤 神 宗 若 田 五

大 德 寺 之 長 壽 寺

中 也 兼 壽 寺 之 壽 寺

弓 刺 卷 之 後 記 職 壽 寺

壽 者

濟 世 壽 寺 年 終 徒 壽 寺

村 山 壽 寺 增 田 寫 藏

荒 木 壽 寺 如 速 見

鳥 居 虎 壽 寺 鳥 居 虎 壽 寺

津 村 壽 寺 井 之 邊 之 壽 寺

加 代 昌 吉 行 能 友

岩 波 壽 寺 弟 川 庵 壽 寺

工 友 壽 寺 志 田 壽 寺

田 中 壽 寺 長 田 壽 寺

壽 者



一  
休  
日  
九  
日

一  
休  
日  
八  
日

十日

一 休日

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

一 常直流休事 休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

一 道入道

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

一 道入道

休日前日 休日後日

休日前日 休日後日

十日 昭然如日

一 例 別 出 法 只 清 一 人 似 有 疑 難

一 許 真 德 有 因 信 清 心 意 也

一 善 德 德

一 許 新 德 德 上 心 國 公 清 心 意 也

一 德 德 亦 何 也

一 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也

一 德 女 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也  
右 曰 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也  
早 川 亦 善 德

一 德 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也  
亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也

一 德 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也

德 亦 善 德

一 德 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也  
德 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也  
德 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也

一 德 亦 善 德 德 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也 亦 何 也

德 亦 善 德

德 亦 善 德

改系

聖國為彼業所迫  
信家之向主誠  
傾往秀好世運昌  
性多類言之生和善運  
行往類海廣

榜舟致言

一 暇後十日未日滿日此止言自  
後在江自月有上法

河野書

善和不及法

以未入法

在法有他運年常期自月有上法  
想入善和月有布每 紅法及法

一  
休  
日

十  
日

十二日

一 例刻出住決小物 在如何法機煙上

一 啟標

一 養教標 為解方 用部 處上 為

一 入年

一 資用

在如何法機煙上

那上

這在如何法機煙上

這在如何法機煙上

中日方  
李  
光  
照

日  
千  
所

這在如何法機煙上

這在如何法機煙上

這在如何法機煙上

這在如何法機煙上

這在如何法機煙上

依  
法  
實  
錄

一 戶通 田月 日 後

公 啟 標 為 解 方 用 部 處 上 為

在如何法機煙上

在如何法機煙上

十月十二日

竹村十景

古月有年

值...  
...

一石...  
一左...

檢制  
...

右...  
...

右...  
...

一...

...

...

...

...

一 京都奉新達

先達自及出度流  
双子舞舞有在舞于殿  
在殿之上高在舞舞  
江来舞之舞也

出度舞中  
平田村  
平八

一 江州人達

江州人達

江州人達  
出度舞中  
出度舞中  
出度舞中  
出度舞中

出度舞中

一 京都奉新達  
出度舞中  
出度舞中



一 查清縣人古車未過沙盤河

卷所

卷之二所更

未及又三所

高良善堂

蘇州村

系五更

赤阜村

八五清

右者查今收者縣商會所沖開數

物之在商法多有因入進出

因入之其清中出清之

商法因法清以優人因入下

查此法之清中入

十月

少美清縣

出石清

查清因入商中商學養律

一 查都表查清十日

形在野... 台... 月... 題

一 竟九月... 月... 題

... 月... 題

一 月... 題

今... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月... 題

... 月

行政

金殿厚

思食之世之為歌道金孔通用也  
作此信書用之不忘情也彼是難  
通用之信口好曲之為乃先及之  
有外相國之介事有府縣之  
力者重遂除儀右位不心之名於  
有之自早速下相之遂以電復事

十月

行政官

一 訂城儀子向之公之友之道也

丁為河通

禮安居城儀之封之時信理也  
以石類被相廣信信公若弟與河通  
序并城中入是等者均合為相改度河  
度信若信奉信信

河通家味

丹上東作

辦事

河通所

一 伴入於公若地之公進檢其

表... 在... 陸... 友... 道... 山... 石... 山... 山... 山...

但... 國... 山... 形... 根... 心... 據... 大... 山... 山... 山... 山...

已... 人... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

自... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

表... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

青

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

辦事

行... 所

追... 答

井... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

有... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

心... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

昔... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

我... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

後... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

後... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

在... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

在... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

在... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

Handwritten notes on the right margin, including the number '11'.

Handwritten notes in the middle section, including the word 'Sonnenschein'.

Handwritten notes in the left-middle section, including the word 'Sonnenschein'.

Handwritten notes in the left section, including the word 'Sonnenschein'.

Handwritten notes in the left section, including the word 'Sonnenschein'.

Handwritten notes in the left section, including the word 'Sonnenschein'.

Handwritten notes in the left section, including the word 'Sonnenschein'.

高橋在陣  
卷之四  
建教内通

海軍通史... 建教内通... 援... 其... 不... 局... 青... 校...

一 建教内通



十月朔日

一昨古八日解車友自腹於皇人法法  
 法成進以自書飛其年凡也自事者有  
 也此以自書飛其年凡也自事者有  
 河東探探捕於其連日則其法法  
 探其書其年凡也自事者有  
 古有成名其年凡也自事者有  
 探其書其年凡也自事者有  
 探其書其年凡也自事者有

丁酉年

九月

軍務友

調練劇

二十七自

紀古  
 紀古  
 紀古  
 紀古

一

二

三

不平

肉

古

青

光

雲

板

阿

前

中

東

東

林

東

池

兒

張



竹腰信譽  
安東虎骨膏  
毛刺宗師  
直落石橋寺  
種村劍柳  
丹桂長門寺  
不平移山寺  
大給古德村  
松平直事人  
不中寺信譽  
小條古德寺  
信譽信譽寺  
平好肉皮  
織田古德寺  
谷古德寺  
小宮古德寺  
小出古德寺  
古德寺  
古德寺

11

梅恒厚

十月十四日

一 时... 内... 以... 中... 增... 以... 中... 增...

十月十四日

十月十四日

一 个... 相... 长... 海...

一 自... 行...

十月十四日

行政官

十月十四日

一 昨... 行...

一  
一  
一  
一  
一

長江の流るる所は  
一  
一  
一  
一  
一

一  
一  
一  
一  
一

一  
一  
一  
一  
一

一  
一  
一  
一  
一

Handwritten notes at the top of the page, possibly a title or a list of items.

一 曾蒙... 諸位... 幸甚... 謹此... 敬頌... 平安

一 有公... 諸位... 幸甚... 謹此... 敬頌... 平安

一 京都... 大書院

人... 氏

有... 氏

恒... 氏

一 目録

人... 氏

有... 氏

恒... 氏

一 目録

人... 氏

有... 氏

恒... 氏

人... 氏

有... 氏

恒... 氏

人足三人有

車馬三人有

恒應三人有

一曰搜象之

人足三人有

車馬三人有

恒應三人有

右道至次傳寫所國所規則之在之清後

中清年

七百

七百

七百

三百

三百

三百

一三二一

青會

一昨二日據藏人書局云... 貴局曾教... 是則學子... 刑法官全... 十月廿日

行政官

青會

一昨有據藏人... 是則學子... 刑法官全... 十月廿日

一全札原為洋信... 公府... 每年十月... 伏青... 下... 一

一全札原為洋信... 公府... 每年十月... 伏青... 下... 一

一全札原為洋信... 公府... 每年十月... 伏青... 下... 一

全札原  
府



四十一

十日

一休  
一休  
通善後

冲用  
明

但  
五

公  
河  
志  
本  
有  
香



三十一

十六日

一 例刻出江州府戶部通判江汝榮  
 所目曾獲同知梅垣  
 所具  
 所新出存本因新江府  
 一 殿  
 若殿作通用款

一月  
 所用  
 所用

一 凡通江銀卷法則用入平錢

所用  
 所用  
 所用

一 凡通江 保官於法用部章

所用  
 所用  
 所用

免定民  
 所用  
 所用

六二一

山後市  
山後市吳氏所  
知方 卷之三

山後市

河野知物

地方收

山後市

三野勇文

平勘定

山後市

手塚忠次郎

山合之儀是任  
再勘定也  
市之儀也  
其之勘定也

勘定

高在惠

山合之儀是任  
其之勘定也

又惠再勘定

山合之儀是任  
其之勘定也

高在勘定

一 山合之儀是任

山合之儀是任

高在勘定

山合之儀是任  
其之勘定也

高在勘定

一 尺通第... 尺

... 尺

平... 尺

... 尺

清... 尺

... 尺

... 尺

... 尺

... 尺

一 尺

... 尺

... 尺

... 尺

六十一

一 用入達

左道家法世間法不一

以茶葉拈動

小須本席動

皆自少須本席

所餘在口內

中須

中須

中須

土波基

右先達言自動

作有及言物不成

中須有及言之人自左道之新法

中須有及言之法非書月仙石有及言列席

中須有及言人持指

廣惠眼

一 注目付達

磯野丹達

中須有及言

Vertical text on the right edge, possibly bleed-through or a separate column.

學  
丹  
遠馬

岡本  
鷲見  
中山  
大石  
大石

一 戶通

用  
竹

堀田

河

有  
好  
佐  
竹

一休日

十月

十月

一休日

... ..

十七日

一 柳村 先生

一 月 貴 漢 河 上 橋 邊 上 柳 村

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生 用 鉛 筆 寫 日

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 柳 村 先生

一 友道福之者自有其同公海内之事

一 友道福之者自有其同公海内之事

了得可  
福之足矣

拓桂昇前

友成

清也表焉

一 友道福之者自有其同公海内之事

以道能  
期

大岩小羊  
小山尚以弟  
松东舍

一 友道福之者自有其同公海内之事

商公  
以道能  
期

商公

以道能  
期

以道能  
期

加者友以弟文

以道能  
期



... ..

少在舟中揚州...

竹村...

温... ..  
... ..  
... ..  
... ..

一 田人達

左道...

... ..  
... ..

高...

一 町...

橋...

... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

Vertical calligraphy on the right side of the page, consisting of several columns of characters.

大者少年  
小山高松  
相傳名畫  
此公名

此畫  
名畫

Small horizontal calligraphic mark.

Small horizontal calligraphic mark.

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.

十八日

一休日

一 在通夜紙上圓月夜家

沖用紙筆各

四寸

和紙筆

長崎島之如

Small mark or character at the bottom left.

Small mark or character at the bottom left.

五日

一 例刑出在古刑之末

一 般律例皆在古法用教者為入年

一 看教律案時亦有同例

一 凡通法 律例皆於法用教者為

出小姓

同例動之物

一 凡通法刑罰人年終

動之物年深未合

出小姓

出小姓

一 凡用人道

凡通法刑罰人年終

出小姓

出小姓

出小姓

出小姓

山房月夜  
山房月夜

小月夜  
元夜  
月夜

一 友道  
友道

所用之儀  
所用之儀

古同義  
古同義  
竹村

一 友道  
友道

仰有款  
仰有款

音韻  
音韻

竹村  
竹村  
音韻

音韻  
音韻

音韻  
音韻

一 友道  
友道

音韻  
音韻

音韻  
音韻

廿日

一休日

漢光院

法意百首

法意百首

法意百首

法意百首

有玉勳侯

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

一 戶通

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

一 負恭院

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

冲勉 冲勉 冲勉 冲勉 冲勉

廿一日

一 制出法其内... 苏何... 魏... 九

一 冲... 新... 在... 新... 法... 一... 股... 亦... 耐... 也

一 入... 年... 一... 股... 亦... 耐... 也... 月... 部... 也... 是

一 一... 股... 亦... 耐... 也... 月... 部... 也... 是

春... 春... 春...

河... 野... 眼... 也

一 在... 道... 江... 州... 出... 言... 未... 成... 在... 江... 中... 言... 语... 也

春... 春... 春...

春... 春... 春...

金... 夜

恒物振冲核... 有... 恒... 恒...

你... 恒...

思... 恒...

厥... 恒...

冲... 恒...

着... 恒...

你... 恒...

冲... 恒...

一 口用入在

重... 恒...

出... 恒...

竹... 恒...

冲... 恒...

口... 恒...

入... 恒...

大... 恒...

有... 恒...

竹... 恒...



一 山部 勇 達

虎 通 之 公 實 錄 中 未 有

當 標 之 既 但 為 國 材 之 當 後 年 沖 家 實

原 由 原 見 合 者 用 以 行 當 月 初 自 也

晦 日 三 之 主 為 藏 未 入 皇 皇 神 美 而 中

愛 美 者 備 四 例 不 能 事 其 通 當 也 處

山 部 勇 達 之 公 實 錄 中 未 有

其 十 月 十 日 為 未 皇 神 之 行 青 山 之

志 度 之 公 實 錄 中 未 有

十 月

之 公 實 錄 中 未 有

山 部 勇 達

一  
体  
日  
音

廿二日

制刻定在口地广文同内书

殿作

善殿作通用款

介作事

大書院作少

少書院作少

御佛法

化字一書

及自官候

冲用

冲用

冲用

及自官候

冲用

冲用

冲用

及自官候

冲用

文壽掛  
竹見川音  
昔上原忠清川音

荒尾頼  
金澤以美

北山道後守公上五郎右衛門守俊次

一 月 貞 行 言 集 書 外 書 卷 一

文壽掛  
竹見川音  
昔上原忠清川音  
竹見川音  
竹見川音  
竹見川音  
竹見川音

芳丹家  
竹村十景

一 月 貞 行 言 集 書 外 書 卷 一

山中  
南

神倉米  
九月二十日

若澤仁若清

有先吾人病氣  
竹見川音  
昔上原忠清川音  
竹見川音  
竹見川音

冲陆

上上贵

松溪代春素

竹厚恩甚上履结构

上上先般

少收可者方

保甘自重一真加也位雅之仕金春分沈

上上何分系行春云出稍位相勤下申虞

保人送言病初以在分有门以在分

竹厚心行春素是这部是定金春分分沈沈

追了相持了事个快下在始是了以在分

以

竹厚悲了情以收以春方

竹教是定成未作春願公不苦思以在分

有類分在

身字月

其澤仁

仙石何成般

荒本相母般

仙石有子之般

早以成春般

伴森五郎  
丹之殿  
國長進殿  
竹村十郎殿  
金澤以重殿  
板原三所殿

竹村十郎殿  
在河野氏分府  
相勤  
今日用者

荒木頼母

又或曰  
月書後  
古勤

竹村素

右方在土田人  
實村人

經長市左衛門  
山崎中三郎  
高木森五郎  
高木森三郎  
高木森三郎

清原水子

一 左道之成也

此乃...  
志行...  
取在...  
取在...  
取在...

中...人...

一 用人生

左道...

此乃...  
病身...  
子...

中...

此乃...  
此乃...  
此乃...  
此乃...  
此乃...

村山英次

此乃...  
此乃...  
此乃...  
此乃...  
此乃...

村山英次

右...

...

一 借日 女四日

一 借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日

一 借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日

一 借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日

一 借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日

借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日

借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日

借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日  
借日 女四日



父嘗遊南苑...

不若只難...

青烟...

致書...

雨心...

本...

...

有...

...

...

...

祿名寺

右今晚六時已火車一沙區了早鐘  
撞了早鐘因席古出住後一息祿名  
出火了申今日夕方了兩路了風天  
外火移了子之各道了及鎮火

仙痛案

仙石右馬反

風物案

仙丹宮

右有不能出住

今晚火頁有

殿極

若殿極何涉極爐口小相了

一 洲真極

上極方是四月入 志石以

一 火清極

祿名寺

一

好亦不曉得箇道理。此道乃無  
終天。終天乃終日。終日乃終身。  
身圓身住。住時乃住。住者身乃身。  
身者身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃

一 亦不曉得箇道理。此道乃無  
終天。終天乃終日。終日乃終身。  
身圓身住。住時乃住。住者身乃身。  
身者身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃

一 亦不曉得箇道理。此道乃無  
終天。終天乃終日。終日乃終身。  
身圓身住。住時乃住。住者身乃身。  
身者身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃  
身乃身乃身。身乃身乃身。身乃



女告白

一 何月定在山洞之有月也

一 何月定在山洞之有月也

一 看殿你

一 何新造你右有月之有月也

一 何積利

一 何利

仙石石馬

好丹文

一 何月定在山洞之有月也

一 何利

一 何意之何也

一 何年考考也

一 何月定在山洞之有月也

一 何月定在山洞之有月也

一 何月定在山洞之有月也

一 何月定在山洞之有月也

一 何月定在山洞之有月也

真收化信

因本清靈

何月定在山洞之有月也

一 身之道

行身之道用神氣

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

身之道

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

一 身之道

行身之道用神氣

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

神氣清其功

一 身之道

行身之道用神氣

神氣清其功

身居小天地  
心遊大宇宙

人若少年  
杉年合

一 日月人生

西洋林頭美酒最香  
中法酒莊美酒最醇  
何處不有酒莊

范叶德

一 夜通中外

夜通中外  
夜通中外  
夜通中外

中山

一 夜通中外

夜通中外  
夜通中外  
夜通中外

一 日月人生

日月人生  
日月人生  
日月人生

一 夜通中外

先建  
在道  
有勤  
花

明有書

先至二回中之一  
有勤花

有東  
沙因  
平

沙因  
平

一  
自

自

自

沙因  
沙因  
沙因  
沙因

一  
山



原稿  
力人包...

清用...  
清升...

中山...

有之...  
快...  
即教...

教...  
行...  
巨...

去...

行...

作...

服...

行...

相...

行...

行...

頓...

書

書

以中氣 啟

平

病

行

書

右

啟

行

順

此

行

廿六日

休日

左道玄成金

所用銀

銀七口四兩

中法

清井順助

右道暢  
至後少因  
出是月  
中法

荒本如急

母病

相持

看病

士

所使

汚付

女七百

一 州出江州... 殿... 入

入

仁積氣... 仁積氣...

風氣... 在... 有...

風氣... 在... 有...

右

江... 江...

江... 江...

一 方... 仁...

藏元...

...

...

...

...

一 戶... 仁...

...

...

...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...  
一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...  
一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...

一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...  
一 恒之易者... 恒之易者... 恒之易者...





Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header, written in a cursive style.

Handwritten text in the middle section, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text in the bottom section, continuing the cursive script from the middle section.





Handwritten notes on the right side of the page, including a large character '六' at the top right.

Handwritten text line 1: 伊... 志...

Handwritten text line 2: ...

Handwritten text line 3: ...

Handwritten text line 4: ...

Handwritten text line 5: ...

Handwritten text line 6: ...

Handwritten text line 7: ...

Handwritten text line 8: ...

Handwritten text line 9: ...

Handwritten text line 10: ...

Handwritten text line 11: ...

Handwritten text line 12: ...

Handwritten text line 13: ...

Handwritten text line 14: ...

Handwritten text line 15: ...

Handwritten text line 16: ...

Handwritten text line 17: ...

Vertical calligraphy on the right side of the page, likely a title or a long inscription.

Vertical calligraphy in the middle-right section, possibly a signature or a specific note.

十月  
之集

費

上卷

西卷

一 久中元百卷

中卷

付本

一 三百卷

下卷

卷首

一 三百卷

卷首

Vertical calligraphy at the bottom left, likely a concluding note or signature.

Handwritten text at the top of the page, appearing to be a title or header.

Handwritten text in the upper right section, possibly a date or recipient information.

Handwritten text in the middle right section, possibly a signature or name.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name or title.

Handwritten text in the middle section, possibly a date or recipient information.

Main body of handwritten text, consisting of several lines of cursive script.





Vertical calligraphic text on the far right edge of the page, appearing as a separate column.

Vertical calligraphic text column, likely a signature or a specific title.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

Vertical calligraphic text column.

有江秋溪一第... 数日... 向... 以... 先... 有... 何... 下... 何... 下... 何... 下...

十月十九日

用... 卷... 册...

甲... 塚...

用... 卷... 册...

重子...

用... 卷... 册...

中村... 重...





Faint vertical text or markings in the upper right section.



有因

出  
如  
美

中  
心  
作  
物

培  
前

中  
心  
作  
物

作  
物  
育  
信

始  
自  
年  
十  
五  
歲  
至  
十  
八  
歲  
止  
其  
間  
所  
學  
之  
事  
皆  
由  
此  
始

有  
因  
有  
果

十  
五  
歲

寄合類取

出用入元

如書信據光

與勤元

獲河出流希出類取中上度就出流米也外上度取  
之數付

種務府令出沙汰之類又有之云米九十月申之出角  
德之出沙汰之類取以出當十月限之出角之出  
沙汰付

東亞府出度取法元出郭月个不物勤仕不勤也

其心海之單之出當地門轉以出解之速之出類取  
之出當出度取之出取合有之出付

轉官類取申之有出出限當出取以出出出限類取  
出米也出日之出出出出類取之出等出取取  
出可申出出取取之出出出出出出出出出出出  
出之出出出之出之出出出出出出出出出出出  
出心海出

右之通

鎮將府出沙汰法有之出出出出出出出出出出出  
編後

九月

板中冢長歌人

山脈之震之有...

歸田土地

以坪何種

何之種

朝長歌中...

受領地

以坪何種

何之種

板中

彈府門後...

土地

何之種

地之受領地...

何種

借地

何之種

日... 日... 日...

Vertical text on the far left margin.

• 1901年 2月 25日 星期三  
• 1901年 2月 26日 星期四  
• 1901年 2月 27日 星期五  
• 1901年 2月 28日 星期六  
• 1901年 2月 29日 星期日  
• 1901年 3月 1日 星期一  
• 1901年 3月 2日 星期二  
• 1901年 3月 3日 星期三  
• 1901年 3月 4日 星期四  
• 1901年 3月 5日 星期五  
• 1901年 3月 6日 星期六  
• 1901年 3月 7日 星期日  
• 1901年 3月 8日 星期一  
• 1901年 3月 9日 星期二  
• 1901年 3月 10日 星期三  
• 1901年 3月 11日 星期四  
• 1901年 3月 12日 星期五  
• 1901年 3月 13日 星期六  
• 1901年 3月 14日 星期日  
• 1901年 3月 15日 星期一  
• 1901年 3月 16日 星期二  
• 1901年 3月 17日 星期三  
• 1901年 3月 18日 星期四  
• 1901年 3月 19日 星期五  
• 1901年 3月 20日 星期六  
• 1901年 3月 21日 星期日  
• 1901年 3月 22日 星期一  
• 1901年 3月 23日 星期二  
• 1901年 3月 24日 星期三  
• 1901年 3月 25日 星期四  
• 1901年 3月 26日 星期五  
• 1901年 3月 27日 星期六  
• 1901年 3月 28日 星期日  
• 1901年 3月 29日 星期一  
• 1901年 3月 30日 星期二  
• 1901年 3月 31日 星期三

• 1901年 4月 1日 星期四  
• 1901年 4月 2日 星期五  
• 1901年 4月 3日 星期六  
• 1901年 4月 4日 星期日  
• 1901年 4月 5日 星期一  
• 1901年 4月 6日 星期二  
• 1901年 4月 7日 星期三  
• 1901年 4月 8日 星期四  
• 1901年 4月 9日 星期五  
• 1901年 4月 10日 星期六  
• 1901年 4月 11日 星期日  
• 1901年 4月 12日 星期一  
• 1901年 4月 13日 星期二  
• 1901年 4月 14日 星期三  
• 1901年 4月 15日 星期四  
• 1901年 4月 16日 星期五  
• 1901年 4月 17日 星期六  
• 1901年 4月 18日 星期日  
• 1901年 4月 19日 星期一  
• 1901年 4月 20日 星期二  
• 1901年 4月 21日 星期三  
• 1901年 4月 22日 星期四  
• 1901年 4月 23日 星期五  
• 1901年 4月 24日 星期六  
• 1901年 4月 25日 星期日  
• 1901年 4月 26日 星期一  
• 1901年 4月 27日 星期二  
• 1901年 4月 28日 星期三  
• 1901年 4月 29日 星期四  
• 1901年 4月 30日 星期五  
• 1901年 4月 31日 星期六

1901年 5月 1日 星期日

• 1901年 5月 2日 星期一  
• 1901年 5月 3日 星期二  
• 1901年 5月 4日 星期三  
• 1901年 5月 5日 星期四  
• 1901年 5月 6日 星期五  
• 1901年 5月 7日 星期六  
• 1901年 5月 8日 星期日  
• 1901年 5月 9日 星期一  
• 1901年 5月 10日 星期二  
• 1901年 5月 11日 星期三  
• 1901年 5月 12日 星期四  
• 1901年 5月 13日 星期五  
• 1901年 5月 14日 星期六  
• 1901年 5月 15日 星期日  
• 1901年 5月 16日 星期一  
• 1901年 5月 17日 星期二  
• 1901年 5月 18日 星期三  
• 1901年 5月 19日 星期四  
• 1901年 5月 20日 星期五  
• 1901年 5月 21日 星期六  
• 1901年 5月 22日 星期日  
• 1901年 5月 23日 星期一  
• 1901年 5月 24日 星期二  
• 1901年 5月 25日 星期三  
• 1901年 5月 26日 星期四  
• 1901年 5月 27日 星期五  
• 1901年 5月 28日 星期六  
• 1901年 5月 29日 星期日  
• 1901年 5月 30日 星期一  
• 1901年 5月 31日 星期二

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes. The text is written in black ink on a white background. It appears to be a list of items or a series of observations, with some lines starting with a small symbol or character. The handwriting is fluid and somewhat slanted.

Handwritten text, possibly a title or a section header, written in a cursive script. It is centered on the page and appears to be a single line of text.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes. The text is written in black ink on a white background. It appears to be a list of items or a series of observations, with some lines starting with a small symbol or character. The handwriting is fluid and somewhat slanted.

大德人其心必公其行必直  
公者無私也直者無曲也  
公而後能容直而後能信  
容則和信則順和順則德  
德則教教則民化民化則  
天下歸之矣

汀獨書言

十一月二日

去矣日

汀如輩為在汀道中

來月十日

着汀為在汀道中

九月

慎將尉

辭去

汀着輩汀當日奉迎

三等官

暫居汀內

二等官

右汀外南側

左設諸侯

右南側

但當日不及

概望已刻

概下

天概且供奉

汀室或不堪連

石通河官署成以乘濕難石波學

如心抄名

河古事

九月

酒將身

解事

河風聲河道筋系川公大通是後町

耳是臨臨河門和回倉河門太馬馬

平城大

河入輦

石通河改抄成以名尸生事

九月

酒將身

解事

河事

河着輦之節諸侯列之軍三為懼子

表外始氣直垂紫移如虎皮子



下級應用

許少治事

九月

德博尉

釋事

十一月廿五日

午

許少治事  
德博尉  
許少治事

許少治事

十月

德博尉

釋事

德博尉  
許少治事  
德博尉  
許少治事  
德博尉  
許少治事  
德博尉  
許少治事

本堂に先札の三股五股千両札の若  
等周波造り此より福用一紙書り着  
録有るを分傳之を卷き下付り名  
本一紙指留能家書より傳町より  
不傳札子より下付

本通町より中津の長武家社寺共  
在り此より傳造り下付

九月

一十月の出来

今般計軍備為計用硝石製造所  
河内庄お成りより武家屋敷長社寺  
屋下硝石の採取を妨げりともお成  
検査之を製造所概りより傳之を要所迄  
支役より伝得り奉

長十月

傳得り  
辨奉

一十月九日

皇國一各金札通用

仰出以上之音辰年租税金納之方

并徳之納物各金札之納之方

但遊是僻陋之方未令之融通の方

以分之中央而後上納之方

九月

行政官

奉天日方之通河規則

親王

二重係介

一等官

中位切門介

二等官

三等官

大位係介

云々諸侯

一等官下

中馬札

一等官

中馬札

二等官

中馬札

三等官  
公口張候

四等官下

中馬札

右陽所三ノ向馬ノ券ノ事

正月

德候府

十一月十日

主上此書

印書事ノ為延候書取致

印書事ノ為

作出通四海一家事也

同視し 思召ら奉書有し

訂書曲らるる者いふ市上同原

訂教旨とて是れ於法儀を以て編し奉事有

假初長形乃く威權を以て後儀止何事

不意小民との極ら存し奉事此の旨も別書に

辱教養生し後書と

訂書極らるる也



訂書意を考ふに生らるる初年一遷

難有威載はそ名を意し教教下位

兼て以る徳儀生すも力録言ふ卿は附屬

あつたをいふと道とまじく一存法儀

一切也

訂書業と宣揚は其主(長官)公考

す中其の方

訂書極ら奉事

辰十月

慎得尉

鳳華著

河部諸侯之軍奉迎場而之位以之  
第之居別之官之階平列之於事

辰十月

慎得尉

云那諸侯

故之部大臣河内國之常司也(小者之)

之外互連之後不取故也

辰十月

慎得尉

着河之部奉迎洋禮其望日也

故其指在車乘後子之口用云也

至其紙封之用波以爲成不古也

辰十月

慎得尉

釋事

一 因日父出京

未六十日

風聲着

訂定於本月十五日着

訂定於本月十五日着

訂定於本月十五日着

庚子月

慎得府

一 十月十日出京

分叙

訂定於本月十五日着

西城之通編

行宮并奉子臣重

慎得府等奉仕

系和 因之通編

作也

庚子月

慎得府

一因日方通狀呈

以出狀發給之向多之而此之如海  
山島未之成也此在現重事海日結之教  
訂東事有之計用之使有之也為  
在三分私使車乘在動事有月日  
波長身人代也信家等廣信局  
在事中之自能計用之也之在  
一也事之也也之也也也也也

其後亦之使發給也知是度也  
各字致別性也書紀名也  
右出使也其手也也也也也也

十月十日

因儀中將

山田高年

山田高年

高年

田高年

高年

用中



子方第卷ハ平陰下坂平丸也  
行方ニ信ヲ付シ長短交々文人修  
後行也入ノ今ノ世ハ老シク後  
七不道ニ其ノ元氣未タハルヲ  
不道ノ心ニ至リテ命ヲ守ル

二月

一 於之出内ヲ爲ス名ノ取切内  
ツ諸心ハ人會也

二月

一 於馬ノ心ヲ素々入  
オチ目ヲ行キテ作也

○ツ諸心ハ人會也

二月

一 於平丸ノ心ヲ素々入  
○ツ諸心ハ人會也

二月

一 於平丸ノ心ヲ素々入  
○ツ諸心ハ人會也

二月

ツ諸心ハ人會也  
能修也

一 於 充 於  
於 德 於  
於 德 於  
於 德 於

八月

一 此 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

對 馬 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

八月

八月

松平

大 今 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

山法

此系系不系也

日考

對馬新島

去歲年人

右山法

此系系不系也

九月

去歲

右山法

此系系不系也

九月

德替齊  
去歲

右山法

此系系不系也

九月

右山法

此系系不系也

乙卯年... 秋... 九月... 十月...  
...  
...  
...  
...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

久保友直

十月

後井

十月十日仙老妻之墓前之墓

依一聖子之碑中

墓前之碑中

子侯之墓中

行方之碑中

家之碑中

之碑中

之碑中

之碑中

之碑中

一 仙老妻之墓前之墓

一 依一聖子之碑中

一 墓前之碑中

一 子侯之墓中

一 行方之碑中

一 家之碑中

一 之碑中

一 之碑中

一 之碑中

六

一 日本之田賦之區考係原之九牛

一 考係中之列年

一 水考及之令及考

考係中之列年  
考係中之列年  
考係中之列年

十月

考係中之列年

考係中之列年

劉新軍

九月廿四日於他處

沛縣督 四條樣上乃上惟沛伏勢頗重沛中而

相以舟之臨在物而為少程

沛軍門在彭在沙達身回在日府物而後

客居館上沙和沙程之席上之古地紅參徒友

劉氏沙達以舟之月權慎之之月一城以名

沙段沙布一之之之

安友村場之家集

杜行沙布之集

十月廿五

劉氏

安友村場

今殺降也之勢頗重沛中而

仙是處下最奇之寺院、權慎之在名

沛沙布之集

九月

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name.

Small handwritten text or initials.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, possibly a signature or a name.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Small handwritten text or initials.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or a series of notes. The text is written in black ink on a light-colored background.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or notes. The text is written in black ink on a light-colored background.

Handwritten text in a cursive script, possibly a section header or a specific item in the list. The text is written in black ink on a light-colored background.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or notes. The text is written in black ink on a light-colored background.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or notes. The text is written in black ink on a light-colored background.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or notes. The text is written in black ink on a light-colored background.

Handwritten notes at the top of the page, including a large number '1' and some illegible characters.

Handwritten text in the upper right section, starting with a large character that resembles '中'.

Handwritten text in the middle right section, containing several lines of cursive script.

Handwritten text in the middle left section, starting with a large character that resembles '古'.

Handwritten text in the lower middle section, containing several lines of cursive script.

Handwritten text in the lower left section, starting with a large character that resembles '古'.

Handwritten notes at the bottom of the page, including a large number '11' and some illegible characters.

Handwritten notes at the top of the page, possibly a title or introductory text.

Handwritten text block, likely a list or a set of instructions.

Handwritten text block, possibly a continuation of the list or instructions.

Handwritten text block, possibly a continuation of the list or instructions.

Handwritten text block, possibly a continuation of the list or instructions.

Handwritten text block at the bottom left, possibly a list of items or a summary.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a short note.

Handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style, characteristic of early modern European cursive. It appears to be a formal or semi-formal communication, possibly a letter of introduction or a business document. The text is arranged in several lines, with some words appearing to be in a different script or language, possibly Latin or a specific regional dialect.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document. The text is written in a fluid, connected style, characteristic of early modern European cursive. It appears to be a formal or semi-formal communication, possibly a letter of introduction or a business document. The text is arranged in several lines, with some words appearing to be in a different script or language, possibly Latin or a specific regional dialect.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, written in a cursive script.

Handwritten text, possibly a signature or a name, written in a cursive script.

Handwritten text, possibly a title or a specific reference, written in a cursive script.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style, characteristic of early modern European cursive. It appears to be a formal or semi-formal communication, possibly a letter of introduction or a business document. The text is arranged in several lines, with some words appearing to be in a different script or language, possibly Latin or a specific regional dialect.

道法自然  
河清海晏

天德昭昭  
啟示

若蒙  
河清海晏  
河清海晏

道法自然  
河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

河清海晏

一 存九日... 石山... 法... 物...

惠

修

睦

友

河... 相... 刻... 畫... 筆...

真

行政官

何... 策... 方... 幕... 碎...

肯... 捷... 功... 養... 政...

敷... 感... 為... 古... 然... 小... 家... 向... 名... 指... 任... 不...

在... 什... 或... 名... 家... 府... 屬... 一... 又... 名... 大... 屬... 後...

料... 一... 力... 之... 知... 以... 族... 者... 性... 有... 一... 也...

自... 然... 之... 功... 勞... 隱... 沒... 不... 著... 名... 其... 以... 建... 樹...

之... 也...

思... 古... 之... 家... 家... 大... 屬... 而... 精... 在... 則...

功曹德及中先名存可致名也  
作出年

青  
行政官

青

一 昭君昭秀人古故官日德并平九烟德記  
青丹石山殿進後進以日名長別程應記進  
其由出得子推存記記也年

一 昭君昭秀人古故官日德并平九烟德記  
其由出得子推存記記也年

其由出得子推存記記也年

其由出得子推存記記也年

其由出得子推存記記也年

其由出得子推存記記也年

其由出得子推存記記也年

其由出得子推存記記也年

青  
行政官



諸君若能... 運育... 臨後... 先... 間...

仰出... 枝... 一之舉動者...

河... 事... 且... 然... 則...

卷之... 河... 集

傳... 禮... 道... 通... 行... 好... 以... 仰... 出... 貴... 人... 以... 爲... 貴... 人... 以... 爲... 貴... 人... 以... 爲... 貴... 人...



新政新舊械計難親秋之在成也  
皇國一體之政令非為之廢廢物之一途也  
今後新式天下之終言不一而足之府府  
之布以他物之手戶藉之脫一法  
其勇之強之我之知之離別之實之  
其大之計及何之有之第一股之同  
盛之也候候之通在法之成之  
政之成何之是雖之小國家之維持  
其要之也當之也

作出之有之其行又後而一切之  
將來之客之其為活天下有志之  
左法之物之制之也

河之其之舊其股廣之其以之  
後所一戶藉之信義之令之其  
當之也

河政之補其後之其成之其其  
有之也  
作出之也

行政官

浮海者，徒有金枝也。

仲清者，有身於官，而徒受其官，其

真何如也。

冲强志，好书画，以精于所事，立

冲强志，好书画，以精于所事，立

行政官

可摘，以法言，何之，朕来相就，亦可也。

行政官

德，其于他，进也，吾等，限也，以列之，故也。

有之，以法，进也，吾等，限也，以列之，故也。

冲沙，治也。

行政官

清純者經清部中火多權之設而  
夫火一而主部中會同板其者  
以儀一為權事

十月

行政友

別成之書  
仲出榮

中領意福在體認信之書清洋之書  
之及之博以於之書清洋之書  
叔慮實似之書清洋之書

仲出榮

十月

行政友

一  
有古書  
一  
古十二石山古清督教之書清洋之書  
其清洋之書清洋之書  
清洋之書清洋之書

一月... 一个... 花...

出...

... 解...

军...

... 冲...

早...

... 有... 有... 有...

但...

军...

何...

死後  
清德

有命  
死何人

有命

何清

有命

一  
非  
人  
命  
則  
何  
生  
死  
有  
命  
則  
何  
生  
死  
有  
命  
則  
何  
生  
死

有命

何清

有命

有命

何清

有命

有命

有命

有命

有命

何清

有命

有命

著者 吳俊之

卷之二

卷之二

卷之二

行政官



贈朽木遺稿  
 返國之序  
 此乃公為  
 善也

朽木遺稿  
 返國之序  
 此乃公為  
 善也

Vertical text on the right edge of the page, possibly bleed-through or a separate column.

亦八日

一 休日

一 宿人達

昨日は泊り込みで、宿屋に泊る。宿屋の主人は、

但徳教寺の住僧

今日も泊り込みで、宿屋に泊る。宿屋の主人は、

英外に泊る。但徳教寺の住僧

但徳教寺の住僧

六月九日

一 刻此法以彼人所同以...

伴亦

有通生 沙雁

月... 今...

一 友通... 法

惠 涉 勝

右...

行... 法

白... 法

十月

行政友

右... 法

本... 法

各社の代表者に招待する

五月廿日

荒木頼母

三月廿日

松本市立中央図書館

松本市立中央図書館

一 左 道 彦 君 へ

右 田 文 彦 君

右 田 文 彦 君 へ

一 左 道 彦 君 へ

一 左 道 彦 君 へ

一 左 道 彦 君 へ

但 道 彦 君 へ

一 左 道 彦 君 へ

右 田 文 彦 君

三月廿日

松本

五月廿日

太田彦美

一 左 道 彦 君 へ

一 左 道 彦 君 へ

Handwritten notes or bleed-through from the reverse side of the page, appearing as faint, scattered characters.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a short message.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a short message.

海日

一 纸白

香光居士

清代香

法苑珠林

早川香

月夜居士

有人功高

冲意

清月居士

清月居士

清月居士

一 四用全

公暇香

石在格

石在格

冲教

口上骨

石在格

石在格

石在格

此竹也言其葉疏而花繁之任在竹葉之  
何如也竹葉之精在初生之時其色青翠  
而後漸黃而後漸黑

竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉  
之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任  
在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉  
之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任

竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任

竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任  
在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉  
之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任

竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任

明正元年正月十日

公孫龍

竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任在竹葉之任

出石藩

御用部屋日記

明治一年十一月

出石町公民館蔵

明治九年

御用部

日記

出石町

公民館蔵

十一月

廿一日  
卷八



道心陰陽

仙越源香

火消

神卷七首在  
金和斐文

多國香  
會何月者  
之國月者  
全身月者  
口氣月者  
口氣月者  
口氣月者  
口氣月者  
口氣月者  
口氣月者

陰舉文  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香  
仙越源香

朔日

一 例刻出过口酒之各河庄数按年常理续

一 河身原在因在清之各

一 着殿板

一 河新造板在因在清之各

一 与板者清法以板因用之各

一 因法用板因用之各

口用人

一 因法用板因用之各

一 个例河板因用之各

一 以各清法以板因用之各

一 先月中以家市人河培清各

一 以各清法以板因用之各

一 先月中以家市人河培清各

一 以各清法以板因用之各

一 友 彦 氏 作 其 後 彦 氏

彦 氏  
山 房 彦 氏  
依 伯 河 彦 氏

依 伯 河 彦 氏  
山 房 彦 氏  
山 房 彦 氏

依 伯 河 彦 氏  
山 房 彦 氏  
山 房 彦 氏

山 房 彦 氏  
依 伯 河 彦 氏  
山 房 彦 氏

山 房 彦 氏  
依 伯 河 彦 氏  
山 房 彦 氏

山 房 彦 氏  
依 伯 河 彦 氏  
山 房 彦 氏

山 房 彦 氏  
依 伯 河 彦 氏  
山 房 彦 氏

一

一

一

五

在

同

同

有

同

有

有

同

一 冲定制像女法好太也定像法清样纸

一 弟有到法好一月一更定法清样纸

冲前

一 唐法有按法好一月一更定法清样纸

冲后

通

一

一

一

一

一

一

一

一

二日

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

育育

一今此職人... 育育

一今此職人... 育育

東海道

中山道

水陸道

附以四街道

右三道... 附以四街道

但人為... 附以四街道

育

行政官

一今此職人... 育

卷之四

石室遺書卷之四

但能形之於後

此一類及之圖外圖等物今以之為遺書  
波等史之志為真沙真沙等

仰止也及其圖外圖等物今以之為遺書  
真沙真沙真沙真沙真沙真沙真沙真沙

此亦一事也其元來任自帶以波僻境遊歷  
此亦一事也其元來任自帶以波僻境遊歷

今以通用之

仰止也及其圖外圖等物今以之為遺書  
真沙真沙真沙真沙真沙真沙真沙真沙

仰止也及其圖外圖等物今以之為遺書

有 新 政 官

重慶商會通子通檢廣子子 年終家督注  
實叙後一車自日出明相元可也也也也也  
沙市商會之通子通檢廣子子 年終家督注  
且疎漏之向也也也也也也也也也也也也

之別紙離形... 通... 紙... 衣... 思... 來... 青... 年...  
辭... 傳... 事... 所... 上... 下... 年... 一...

十月

行政

別紙離形... 一... 書... 數...

領知高

地名氏通稱姓實名

富辰何歲

卷于十六

實氏通稱實名家男

年端于支月日家督

年端于支月日叙何位仕任何官

年端于支月日叙何位仕遷仕何官

嫡	氏通稱姓實名	富辰何歲
年端于支月日叙何位仕任何官	卷于十六	實氏通稱實名家男
年端于支月日叙何位仕遷仕何官	氏通稱姓實名	富辰何歲
庶子	氏通稱姓實名	富辰何歲
隱居	氏通稱姓實名	富辰何歲
何位仕何官	實氏通稱實名家男	

十月廿六日

一昨日... 別紙... 通... 不... 書... 督... 數...

子... 古... 成... 多... 左... 通...

切... 丹... 家... 口... 改... 道... 行... 規... 則... 本... 事... 一... 一... 其... 向...



幕一古色佳以不審故有今因未考  
以今事他事亦以不審事一

青

行 政 友

一 同日軍警古色別野河  
美口信成或亦亦亦

山 志 信 廣

東北軍定進一人教門排

作世知公故之屋古國也下乃老結  
括或海者所途在系古也後之長也

進言東系古何公之行故之  
也管之初費之行古也進言古也

佳更之古也

十月

軍 警 友

十月六日

一 昨安之日軍警古色別野河  
事一古色佳以不審故有今因未考

離散友友

佳更之古也

福江  
竹田  
中津  
省  
公  
福江  
竹田  
中津  
省  
公

二日

一 制丹先生出酒之如何法藏地  
一 片道 仁有道人之心法

而法也

路田及尔

女子一重昭儀受  
在老伯春年秋未  
中村高平所病也  
一 秋月夜月香色  
一 佛指身皆道言為法言  
一 法言身皆道言

间中解秀

一 法言身皆道言  
一 法言身皆道言

一 四月入道

一 苗家歸之教言  
一 法言身皆道言

惠行六清

一 片道法月

一 法言

一 指行

一

一

有年之青白

中本往沙羅國有

可成華

有

青白

金以

一

程公

一

一有

一

一

一

一

一

一

一

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...

一、...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

山...  
水...  
物...  
移...  
沙...  
谷...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

大 會 堂

田 中 紅 都

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

一 青 年 之 志

四日

一 休日

宝園院板

法意百身

岩屋有

法意百身

竹村十景

友介乾古物屋十景百身

河地 法意百身 宝園院板

友介乾古物屋

法意百身 宝園院板

法意百身

宝園院板

法意百身

荒木須女

友介乾古物屋

河地 法意百身 宝園院板

河地 法意百身 宝園院板

河地 法意百身 宝園院板

... ..

又日

一 河身原

着教板 河新造板 河身原

其... ..

其... ..

其... ..

其... ..

私教...

一 四月

此... ..

其... ..

但... ..

其... ..

其... ..

其... ..

其... ..

其... ..

中... ..

刊紙



天

高溪  
七石  
別

如高物

橋

一 左道 竹篙 角 心 信 之 心

作 山 官 用 有 人 後 地 夫 心 存 心 共

高溪 官信 下月 官信 高溪 官信 官信

高 官信 竹 官信 篙 官信 角 官信 心 官信 信 官信 之 官信 心 官信

竹 官信 篙 官信 角 官信 心 官信 信 官信 之 官信 心 官信

心 官信 信 官信 之 官信 心 官信 信 官信 之 官信 心 官信

案 官信 左 官信 葉 官信 箱 官信 押 官信 備 官信 物 官信 表 官信 案 官信 高 官信 溪 官信

備員人

王 殿 祚 竹 篙 角 心 信 之 心

高溪 官信 下月 官信 高溪 官信 官信

竹 官信 篙 官信 角 官信 心 官信 信 官信 之 官信 心 官信

備員人 官信 備員人 官信 備員人 官信 備員人 官信

一 友之道  
一 友之道  
一 友之道

押 榻榻米

一 友之道  
行直書之

用之  
山重水复疑无路  
柳暗花明又一村

行於上

一 友之道  
右月自承清泰  
左月自承清泰

右月人

一 友之道  
行有公於用部會

國事系謀  
亦勤言是之通

振日反

一 友之道  
行有公於用部會

竹村上  
山重水复疑无路  
柳暗花明又一村

板原新

一 月 念

一月念

一月念

一月念

一月念

一月念

一月念

一月念

一月念

一月念

一

一月念

一月念

一月念

今日

休日

本日 星期日 休息

國費院

星期日

真彩院

星期日

如本院 休息

休息

休息

本之...

...

...

...

...

一 東洋人ハ其國に於テ其國語ヲ用ルルニシテ  
古來其國に於テ其國語ヲ用ルルニシテ

左ノ如キ者ナリ

其ノ如キ者ナリ

以テ其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

其國語ヲ用ルルニシテ

一 伊達去たる毎

有る者

一 昨廿七日非蔵人皇御行幸有る通奉相御  
授殿之御行幸有る通奉相御

令殿

即東進し道翁考子義清職業出籍  
履受す千餘石と云且大男水給り

町振地

俾出候事

皇國中一年進送首付の通奉相御

通奉相御

殿主有る通奉相御の御行幸有る通奉相御  
辨認す支配玉足達之履受之職地之通奉相御  
窮民控有る通奉相御の御行幸有る通奉相御

町振地

十月

行政

青海

一 昨廿日非蔵人皇御行幸有る通奉相御  
殿主有る通奉相御の御行幸有る通奉相御

天城子有る通奉相御の御行幸有る通奉相御

一 町園教有る通奉相御の御行幸有る通奉相御

家... 職... 因... 案... 因... 案... 因... 案...  
一般... 行... 道... 案... 案... 案... 案...  
迫... 案... 案...  
修... 案...

行政

省... 職... 制...  
執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...  
案... 執... 政... 案... 案...  
案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

案... 執... 政... 案... 案...

北鐵制... 十月

一 廣... 公議... 大議...

十月

一 昨... 軍資... 合... 不... 告... 持...

軍督...

青海



...  
...  
...  
...

一 此其日非其人... 亦其日... 亦其日... 亦其日...  
二 用... 亦其日... 亦其日... 亦其日...  
三 亦其日... 亦其日... 亦其日... 亦其日...

一六二〇  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石  
仙石

右道... 亦其日... 亦其日... 亦其日...  
亦其日... 亦其日... 亦其日... 亦其日...

Handwritten notes on the right side of the page, including a large character '一' and other illegible characters.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the upper right section.

Vertical handwritten text in the lower right section.

Vertical handwritten text in the middle section.

Vertical handwritten text in the middle section.

Vertical handwritten text in the middle section.

Vertical handwritten text in the middle section.

Vertical handwritten text in the middle section.

Vertical handwritten text in the lower middle section.

Vertical handwritten text in the lower middle section.

Vertical handwritten text in the lower middle section.

Vertical handwritten text in the lower left section.

三辰合  
陽明子風雲  
年合年子風雲  
子風雲

佐子信崇  
子信崇  
子信崇

中村幸也

三辰合  
子信崇  
子信崇

少長  
信崇

右子信崇

少長  
信崇

信崇

右子信崇

少長  
信崇

三辰合  
子信崇

佐子信崇  
子信崇

少長  
信崇

右子信崇

子信崇

少福書言

十一月十九日應山書

今叙

河東書言為越日有冬祭一終

思石上列紙

初書通長藏國大官雖水以神社後

書國須守

初書社言為冬書月旬

行幸

河東洋言為冬書月旬

作出幸

十月

行政官

勅崇神祇重祭祀

皇國大典政教基本然中世以降政道漸衰  
祀典不舉遂馴致綱紀不振朕深慨之方  
今更始之秋新置東京親臨視政將先興

祀典張綱紀以後祭政一致之道也乃以武  
藏國大宮驛冰川神社為當國鎮守親  
幸祭之自今以後歲遣奉幣使以為  
永例

明治元年戊辰十月

今敢非常之

聖躬

祈東幸既

祈着輦之在成以如東山略及平定

祈滿足也

思君以得大前途月外之歡極深々

祈懸念之為立

皇國一體之祈故素深

祈苦慮之為在身別紙

祈書之週日之陳

祈萬歲

祈親裁也

作此以勉之言在有司備素簡為

原も公正公平と旨く同心戮力並手  
忠勤尤所為筋身分殿も何事も其  
憚忌憚正議直諫不諂  
河津信事

十月

行政官

勅皇國一體東西同視朕今幸東京親  
聽内外之政汝百官有司同心戮力以翼  
鴻業凡事之得失可否宜正議直諫

啓沃朕心

明治元年戊辰十月

十一月廿日

東山寺 奉定之印  
濱將府 札之紙  
河津信事 為此  
宿野之紙

作去以淑身日今慎將對  
廢事

十月

行政官

沂東隱之無以當  
皇君之定以好以東  
東東城之可移事

但多言也 信出  
行宮之稱正山以事

辰十月

行政官

一 方通商書悉出以官業去國七前部及家子  
抄錄

公藏人

外上兼作

有光敢以達是是以身去上日事致  
出之即亦日沙昔塔到是任西久保勝及  
工局發清在仕在後沙而中上以以上

十月廿六日

仙居後發書家來  
手塚泰輝

釋事

門後所



七日

一 何刻此往伊尔地广之烟土城烟土  
左道宜宜河宜宜

所用之烟土  
非有之烟土

河好音道  
西村 曹  
平尾 吉道  
小林 康吉  
井之尾 三郎

一月入金

右道烟土之收烟土之烟土  
右道烟土之收烟土之烟土

亦亦有烟土  
大宜之烟土

一 左道烟土之收烟土之烟土

井之尾 三郎  
成吉 吉道

河好音道

内町  
原田 成平

西村 重

右目新

平尾 重

右目新

小林 康吉

河野 常吉  
原田 成平

井上 重吉

一 左 通 新 浪 目 新 用 人 名 簿

長 生 洋 行

古 把 丹 前

小 原 康 吉

三 原 康 吉

内町新屋  
洋行

坂 本 重 吉

一 左 通 新 浪 目 新 用 人 名 簿

内町新屋

坂 本 重 吉

用 人 名 簿

坂 本 重 吉

内町新屋

一 友道之能成也

用道之有  
忘道之有  
的之有

大友之書

一 友道之能成也

友道之能成也

我人持  
不之信  
百歲  
雅公

道之能成也

常之能成也  
先年未高物  
信之大友也

常之能成也  
大友也

出所能也  
信之大友也  
平美

信之大友也  
大友也

常之能成也  
信之大友也

信之大友也  
大友也

小倉 不在  
其 不在

田原 不在  
田原 不在

方 園 於 廣 德 弟 文 信 父 母 後 之 矣 信 云 在  
其 子 孫 亦 有 如 此 者 亦 有 信 云 亦 在 矣  
後 國 人 及 其 子 孫 亦 有 信 云 亦 在 矣  
其 或 亦 有 信 云 亦 有 信 云 亦 在 矣  
何 其 甘 苦 也 信 云 亦 在 矣

田原 不在

田原 不在  
其 子 孫 亦 有 如 此 者 亦 有 信 云 亦 在 矣

田原 不在  
其 子 孫 亦 有 如 此 者 亦 有 信 云 亦 在 矣

青島 不在

田原 不在  
其 子 孫 亦 有 如 此 者 亦 有 信 云 亦 在 矣

信田 不在  
信田 不在

田原 不在  
其 子 孫 亦 有 如 此 者 亦 有 信 云 亦 在 矣

小田 不在

田原 不在  
其 子 孫 亦 有 如 此 者 亦 有 信 云 亦 在 矣

白根 不在

一

江崎庄次  
江崎庄次

江崎庄次  
江崎庄次

江崎庄次

右白

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次  
江崎庄次  
江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

江崎庄次

一 如石中界茶

吳合款

一 七年上界茶

此類茶石中界茶

一 老石文石

此類茶石中界茶

一 一牙上界茶

此類茶石中界茶

一 四石中界茶

一 七石中界茶

一 行銀茶

此類茶

都金松石中界茶

長石  
此類茶

則石  
此類茶

上石  
此類茶

貴石  
此類茶

一 空石茶

此類茶

西山園茶

右首及慈友向後合族五之其前

園地江村陳梅山約道一宜茶候其海

物未言介未先打考金石中界茶

Vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side. It appears to be a list or a series of notes.

廣惠公和古同音有每

信或及之

一 序通字成之公後

常同音

長河

國朝

小

一 町

Vertical text on the left side, possibly bleed-through or a separate column of notes.

Vertical text at the bottom left, possibly a signature or date.

一 日 一 日

一 日 一 日

冲光集

周紹良

但美之兄... 冲光集... 周紹良



九日

一 別封出仕江下納戸家領口概通

在補納帳

加納

有...  
今日...  
...

早川

有...  
...

...

一 友通願

小林康彦

加納...  
...

加納

小林康彦  
...

一 口用人

只以眼觀之其  
清淨之氣  
清淨之氣  
清淨之氣

一 用  
中法印

一 道  
道

此是所  
未鏡所  
福元

右代

河

多田

國為清士

有美為一人痛盡全使往蘇方之月以  
中叔先舉國以之公善善也而胡莫  
遂 一德清也

口上竟

蘇氏之來

中原國之及信傳曰 東往南往  
此 一德清也 道和德清也 東往南往  
此 一德清也 道和德清也 東往南往

世有八痛盡全使往蘇方之月以  
以 一德清也 道和德清也 東往南往

一德清也 道和德清也 東往南往

明法在後居在三月日

國為清士

蘇氏之來

右同人

右痛盡全使往蘇方之月以



一

同治十年

有美哉 後漢書 百後名所自入

一 同治十年

同治十年 庚子 庚子 庚子

庚子 庚子

十日

一 刻刻不阿 忘得尔物 尔物以成 德

中九

一 常子院 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 律清 尔物以成 德

一 右通，行書法，用紙卷為一

動法  
序是正通

心正則身正

一 取樣

看戲樣，宋平時，用紙卷為一

入筆

一 左通，行書法，用紙卷為一

行用為一類，用紙卷為一  
入筆法，用紙卷為一

本國樂器  
清井八角

一 右通，行書法

左通，行書法

王政行，新行，用紙卷為一  
朝庭厚法，用紙卷為一  
行書法，用紙卷為一  
長壽目，用紙卷為一

本町  
藏人，用紙卷為一

口法，用紙卷為一

行書法，用紙卷為一

新法，用紙卷為一

石目

石目

山形新八

上村

長成村

父

真重村

父

嘉和村

儀母

養父

住

法金

八十八

長成村

上

長成村

父

真重村

八十八

儀母

八十八

養父

住

法金

八十八

山形新八

上村

長成村

父

真重村

父

嘉和村

儀母

養父

住

法金

八十八

山形新八

上村

長成村

父

真重村

父

嘉和村

儀母

養父

住

法金

八十八



十日

一 例刻定法口納戶以國子機彈

一 行身板

一 行新造板行日費後同江階

一 痼積乳育

一 今日定其令症

早以宏集

一 右題達

一 行他行身行日費清子機彈

一 殿承

一 若殿承之射日下用款

一 作事

一 行用人達

一 去乃行收河日藏入日納戶可

一 左通信教

一 米之音

一 大定武拾八儀

一  
夏秋不食者  
疎米入食者

身  
西心園蓮

右心園蓮心好也  
右心園蓮心好也  
右心園蓮心好也  
右心園蓮心好也

一  
京都表  
仙石精摩  
仙石精摩

仙石精摩

仙石精摩

仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩  
仙石精摩

一

朝  
成  
事  
業  
成  
功  
之  
道  
在  
於  
勤  
勞  
與  
誠  
實  
之  
心  
若  
無  
此  
心  
則  
事  
業  
不  
能  
成  
功  
勤  
勞  
者  
必  
能  
獲  
得  
成  
功  
之  
喜  
悅  
誠  
實  
者  
必  
能  
獲  
得  
人  
心  
之  
信  
任  
此  
為  
成  
功  
之  
基  
礎  
也

一

勤  
勞  
者  
必  
能  
獲  
得  
成  
功  
之  
喜  
悅  
誠  
實  
者  
必  
能  
獲  
得  
人  
心  
之  
信  
任  
此  
為  
成  
功  
之  
基  
礎  
也

一  
勤  
勞  
者  
必  
能  
獲  
得  
成  
功  
之  
喜  
悅  
誠  
實  
者  
必  
能  
獲  
得  
人  
心  
之  
信  
任  
此  
為  
成  
功  
之  
基  
礎  
也

一

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

仲夏月... 日

十

行政官

仲夏月... 日

Handwritten text in a rectangular box at the top of the page, arranged in vertical columns from right to left.

Handwritten text in a vertical column on the right side of the page.

Handwritten characters or a signature located below the vertical text on the right.

Handwritten characters in the middle section, positioned above a horizontal line.

Handwritten characters in the middle section, positioned above a horizontal line.

御朱印



Main handwritten text block on the left side of the page, consisting of several vertical columns of cursive characters.

仙后嶺の家来  
赤下文

出石  
藩印

有通市河人  
東洋番官  
且官儀人  
中用助の辨事  
五郎中  
世記中  
有通市河人

十月

仙后嶺

十月廿一日

一 張藏人... 進... 官... 七... 年... 松...  
四... 女... 之... 法... 成... 於... 紙... 在... 也

未... 廿七日

張... 行

行... 年... 必

仰... 出... 事

但... 法... 規... 矩... 事...

有... 色... 白... 東... 系... 務... 事...

仰... 出... 事

十月

行政官

十月廿一日

一 世... 張... 藏... 人... 之... 法... 成... 於... 紙... 在... 也  
美... 年... 有... 出... 在... 案... 卷... 及... 之... 法... 成... 於... 紙... 在... 也

東... 山... 系... 之... 平... 定... 之... 事... 之... 事... 之... 事...  
於... 於... 於... 於... 於... 於... 於... 於... 於... 於...  
於... 於... 於... 於... 於... 於... 於... 於... 於... 於...

仰... 出... 事... 之... 事... 之... 事... 之... 事... 之... 事...  
仰... 出... 事... 之... 事... 之... 事... 之... 事... 之... 事...  
仰... 出... 事... 之... 事... 之... 事... 之... 事... 之... 事...

育

今收法局所存之版以自多之難仍由東十二列自  
法廣以諸諸款例亦去後官上可也

世東系概

河發聲中

軍法可也

布通東京系

作出

十月

行政官

一 王及後古元百事進之河波西之成聲  
刑律、北民生死、而係迷之河聲正可也  
為立之承承者為位德國事、多知未之聲  
兵服河之民德、新律河有在之故書府  
河委德之刑律、依之、中、德刑、君父之殺元  
大逆、其地重罪及禁刑、果首、德之進  
故而律、法刑、德、流刑、般、其地、且、盜  
竊、百、而、不、報、五、至、死、之、法、略、河、法、定、之、成、以  
尤、死、刑、初、裁、之、後、系、府、屬、縣、共、刑、法、官



一 凡同出直德官租息之刑罰者一  
一 凡刑惟其地限之凡彼地所罰者  
一 凡今舊高者一而中置了者一

一 律刑土地之便官之之官罰之之官又有  
藩縣之其見此後之由之而中置了者一  
一 凡布令可也高也一

右通  
作此系所自後世相之稱名快之度也  
刑法者一而中置了者一

十月  
行政官

一 今言此獄人言刑罰所出自有通石之金集  
管教之河漢也成之左通

全股  
十月  
右通

作中

十月

行政官

諸君

諸人

更存此誠能所職行也是致自更知也其志  
未大十月十日之非成人也持久之功事

他款東京十日

作中事一尤不虛紙德對也

事

十一

行政官

議事一收之收也

作此通諸海也其大國也其用也

其行也其志也其思也其言也其行也其

其行也其志也其思也其言也其行也其

其行也其志也其思也其言也其行也其

皇國一也

朝廷行諸也其志也其思也其言也其行也其

其行也其志也其思也其言也其行也其

其行也其志也其思也其言也其行也其

河柳之體態甘香一屬之宜屬之可貴也

有秋

作出更

十月

有通系之體態

作出更

青甲

一今二日軍務官言別後法書村即通英首書  
去通本村之所有法書法書之成生也

從法書之書法書之體態

法書之體態

法書之體態

法書之體態

法書之體態

法書

法書

法書之體態

當度... 相... 可...  
... 今... 精... 是... 建...  
... 力... 其... 說... 用... 建... 名... 德...  
... 今... 玉... 道... 一... 守... 衛... 可... 以...  
... 遠... 去... 在... 依... 公... 先... 甚... 中... 有... 命... 一... 萬... 名...  
... 一... 張... 甚... 清... 可... 滿... 誠... 家... 未... 備... 以... 相... 建... 也

十月

軍務官

無...

今... 軍... 在... 建...

... 踏... 沙... 等... 一... 舞... 步... 上... 高... 其... 者... 後... 想... 得... 也...  
... 惟... 恐... 人... 只... 尚... 宜... 用... 人... 所... 信... 忠... 心... 有... 以... 充... 也...  
... 右... 參... 軍... 甲... 之... 滿... 實... 且... 人... 負... 調... 書... 卷... 甚... 多...  
... 從... 後... 我... 人... 其... 姓... 名... 甚... 多... 且... 其... 人... 亦... 甚... 多... 矣

十月

軍務官

賞...

一 何... 行... 事...

一 狀... 平... 有... 事...

一 東... 事... 甚... 有... 事...

十二月

一休日

後學 孫佐野 謹啓

此書 敬請 賜教

書 敬請 賜教

後學 孫佐野 謹啓

孫佐野

天國 孫佐野

一町 孫佐野

書 敬請 賜教

後學 孫佐野 謹啓

孫佐野 謹啓

孫佐野

天國 孫佐野

十二月

一 例 先行 納 入 簿  
一 例 先行 納 入 簿  
一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

早川 虎造

岡部 五郎

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 例 先行 納 入 簿

一 胃人達

去冬自以取濟家入酒莊業以行  
其意乃古法傳教書以中法  
製法可百餘

及通濟善法。後以百一

完外大已  
及下藏入

三  
古

今中春三記身  
為甚天也  
及

發  
地

及通濟之身可。後以百一

及通濟之身  
及通濟之身

二  
一

及通濟之身可。後以百一

一  
一

及通濟之身可。後以百一

及通濟之身可。後以百一

一休  
月

十四  
日

一  
月

一  
月



十六日

一 別出此酒之味 亦相 誠恐 書目

以 錄中 九

一 中 真 錄 着 錄 錄

一 中 新 錄 書 目 錄 錄 錄 錄 錄 錄

一 中 新 錄 書 目 錄 錄 錄 錄 錄 錄

一 同 錄 錄 錄 錄 錄 錄

別 用 人 若 田 家

一 殿 錄

善 勸 錄 用 部 錄 錄 錄

入 年

病 積 亂 錄

云 錄 錄 錄

江 錄 錄

早 川 名 書 清

有 廣 達 江 錄 錄 錄 錄 錄 錄

下 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄

錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄 錄

善信及是夜  
某老和尚

長岡夜卷  
腹部法卷  
河野市卷  
周部法卷  
一即法卷  
職部但見

善信及是夜  
某老和尚  
善信及是夜  
某老和尚  
善信及是夜  
某老和尚

善信及是夜  
某老和尚  
善信及是夜  
某老和尚  
善信及是夜  
某老和尚

在國新

荒木助卷

在國新 但月島月前未如海之相

一 收納卷  
英女卷  
某老和尚

某老和尚

會通書序

一寺松山在

自通聖書序

此書本願一上上實

松溪先生未便研以鏡

儒者誠慮以金唐院

以相傳增其有書

皇中出與金唐院

以相傳增其有書

林丹一

不獨儒者作序也

美以作序也

以作序也

以作序也

松溪先生未便研以鏡

儒者誠慮以金唐院

以相傳增其有書

皇中出與金唐院

以相傳增其有書

皇中出與金唐院

以相傳增其有書

此來。始知。... 似。... 一。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...  
 似。... 似。... 似。...

似。... 似。...

似。... 似。...

似。... 似。...

右道堂 行莊

十六日

一 休日

一 左道教去今午自出日教海法

修家至是起彈弓

一 古中古法甚奇每

高天入者其教自有其法

其法甚奇

工者亦

十七日

一 刑部出法小納戶志因法機操上

大醫院

以忘日有

伴

夜官

春來院解之

一 市改達  
刑部出法小納戶志因法機操上

痲積外候

果川夜官

一 風車候  
候今日門進候

國部夜官

右 右在入達

刑部出法小納戶志因法機操上  
身金世是合

一 作中自有其意

一 在道之成也

一 用之

一 非有之

此字是人之... 非有之...

二 云一

一 霜之院殿

一 用之

一 用之

一 用之

一 用之

一 用法

一 右字

一 用之

一 用之

此字是人之... 非有之...

一 在道之用人

一 素心草

霜天院殿上 固忘其 霜日景陽

秋月 任有月年年有月

霜

金草

行

月人

布道 任有月年年有月

一 布道 任有月年年有月

任 任有月年年有月

任 任有月年年有月

金草

山茶

行

金草

山茶

一

一 素心草

任有月年年有月

任有月年年有月

長岡



榜別是... 行徒出... 後

一 左道... 後

竹... 後

竹村... 後

... 後

一 左道... 後

右... 後

相... 後

一 左道... 後

... 後

二... 後

一 左道... 後

... 後

右... 後

二月十七日 金澤坡文

二月十七日

和歌如入心家令人下法者其心  
五句 *Quintessence of the best and purest*  
空

二月十七日

中松師成  
中松師成  
中松師成  
中松師成  
中松師成

位者其心家令人下法者其心  
和歌如入心家令人下法者其心

有和歌如入心家令人下法者其心

二月十七日

二月十七日

有和歌如入心家令人下法者其心

有和歌如入心家令人下法者其心

有和歌如入心家令人下法者其心

有和歌如入心家令人下法者其心

予

金

口

...

...

...

小川

...

...

十八日

休日

正須縁書落し月夜中  
練衣枕香着山の中相月迎山首  
特指物し言言教所形  
仙石有月  
若殿作如心月正縁坊  
竹中兼一

右月夜中月夜中

荒木相母  
伴 每  
坊 丹  
竹 村  
金澤

仙石有月

右月夜中  
如月夜中

一 卷之八 二日 行碑集

一 卷之八 二日 行碑集  
此 有 是 人

十九日

一 別村出江口烟 蘇州 檣地  
一 着動原大所也 門用部 原也  
入筆

早川左清

花積 萬法  
今 月 念 日  
川 也 辰  
月 也 辰  
今 月 念 日  
今 月 念 日

國部 甚 甚

一 有南 從 甚 甚 川 也  
一 取 原 矣 勝 也 川 用 部 原 也  
入 筆

沖 會 辰  
今 月 念 日  
今 月 念 日  
今 月 念 日

川 部 甚 甚  
比 甚 甚

一 取 原 矣 勝 也 川 用 部 原 也

文成方  
書法

成  
友  
友

一 方通顯用書法

不知真法  
知年有書法

珍  
名  
助  
書

初年有書法  
初年有書法

一 方通月道

初年有書法  
初年有書法

珍  
名  
助  
書

一 方通月道

初年有書法  
初年有書法

珍  
名  
助  
書

一 方通月道

初年有書法  
初年有書法

初年有書法  
初年有書法

一 新記  
一 木老石

積石羅雲音石

一 續部  
一 木老石

日古松石

一 文部  
一 木老石

由原

一 木老石

日古松石

一 木老石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 才部  
一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

此石以藏

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石

一 木老石

日古松石



Pharmacology

一 本草名

目入接又生

本草綱目卷之五十四

一 本草名

目入接又生

本草綱目卷之五十四

一 本草名

本草綱目

本草綱目

一 本草名

本草綱目

本草綱目

本草綱目

本草綱目

一 本草名

本草綱目

本草綱目

本草綱目

本草綱目

本草綱目

一 東都來十月十日。此。...

進。...

...

...

...

...

...

...

...

...

年九月五日奉命... 福康...  
一、... 福康...  
二、... 福康...  
三、... 福康...

福康

福康

天津... 福康

福康

天津... 福康

本署... 福康

天津... 福康

天津... 福康

十月... 福康

天津... 福康

福康

天津... 福康

福康

福康



在考初初一... 十月

行政官

南... 丹... 岩... 酒... 松... 日... 收...

今... 十月

行政官

先... 十月

行政官

大... 牙...

十月十日

一... 行政官

日德才半一分五分三合二身之世宰相中將殿

江後方如及前自以

春兼征討自忠高戰以一等振魂奈美

若若上以高廣之於之是是奈今在在自以

等要洋之烟奈其自以之神神奈其自以

十月

行政官

十月十日

一 敬軍務官江善有老也江後方如及前自以

法廣云

一 東山平定之身執旋之若隊安之之也

海國之向人負石前尤難降降休也

巨細之烟之自出在十其年

世旅東京為

江後方如及前自以

所出年

十月

軍務官

十月十日

一 兵卒非藏人之自別後以書有老通在國宰相

中將殿之江後方如及前自以

東

河東軍在國在邑法度再行

重臣若

林華一神任更而為之

天機分也 仰出之

已之別之

河東法

十月

行政官

丁巳年

一 某君... 在... 之... 亦

有... 之...

以... 之... 故... 亦

... 之... 亦... 亦

十月

仙... 亦... 亦

梅... 亦... 亦

十月... 亦... 亦

去... 之... 亦... 亦

安... 亦... 亦

梅... 亦... 亦

引... 亦... 亦

... 亦... 亦

... 亦... 亦

... 亦... 亦

... 亦... 亦

... 亦... 亦



十月十日  
柳川文房

引紙

安後 柳川

右澤伏淵聚江 岡百足東系

後博華清

天翁後 沖運方

十月

引紙 十月十日

安後 柳川

右澤伏淵聚江 岡百足東系

後博華清

天翁後 沖運方

引紙 十月十日

安後 柳川

右澤伏淵聚江 岡百足東系

後博華清

引紙

安後 柳川

右澤伏淵聚江

後博華清

十月十日 大德...

安友...

其方父... 於... 以...

十月

安友...

其方... 及... 德...

十月

十月

十月

其... 則...

十月

十月

其... 表... 河... 亦...

十月七日

桂林府志

引文

鶴峯茅屋官軍旌旗之聲之仙者為終及陳伏  
後一時不為軍事一上言一不為之也其後  
數言身於高地也今言以陳陸也 仰其後  
河造之也其後終成也地到前之也其言  
其後也終之也其言

十月七日

桂林府志

引文

今古之安處終為一也其後終成也地到前之也其言  
右得如陳陸也今言以陳陸也 仰其後  
河造之也其後終成也地到前之也其言

十月七日

桂林府志

引文

臨桂縣志終為一也其後終成也地到前之也其言  
對言身之善終及之善也今言以陳陸也 仰其後

桂林府志

桂林府志

一十月七日

一 附錄

一 附錄

書後對馬書

書代

書後對馬書

書代

附錄

附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

書代

書代

一 附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

一 附錄

書代

書代

一 附錄

有古於子後... 由... 在

月夜長光

之方... 廣官... 航... 刺... 志... 氏...  
向背... 共... 之... 也... 者... 航... 深... 伏... 不... 下... 報... 不... 容...  
易... 不... 業... 之... 係... 之... 以... 今... 同... 姓... 因... 友... 誼... 深... 矣... 以... 啟... 而... 化...  
河... 漢... 樓... 十... 分... 年...

有

別紙

中... 外... 紀... 元

之方... 業... 廣... 官... 兵... 航... 航... 之... 刺... 志... 志... 氏...  
一... 之... 向... 背... 之... 共... 之... 也... 者... 航... 深... 伏... 不... 下... 報... 不... 容...  
不... 著... 易... 之... 係... 之... 以... 今... 同... 姓... 因... 友... 誼... 深... 矣... 以... 啟... 而... 化...  
河... 漢... 樓... 十... 分... 年...

河... 漢... 樓... 十... 分... 年...

有

古日

一休日

貞養齋

江卷目有

續書

江卷

荒木頼母

有今朝言

江卷結

作書

江卷

江卷

法光院

江卷目有

法鏡

竹村

有今朝言

江卷

江卷

紫園

江卷目有

法鏡

白井

目次

一 例刻古法... 机械...

一 例刻古法... 机械...

一 般... 机械...

人生廣義

一 右從先... 氣...

一 不... 氣...

一 河... 氣...

一 身... 氣...

以上皆見

私儀代... 奏...

一 河... 氣...

一 右... 氣...

一 你... 氣...

一 何... 氣...

少微有門此意非  
清溪心後看身任  
不令後世任神  
行慈悲以捨棄  
行救免咸中  
有類合望

年庚子

大正庚子○上

日  
月  
星  
辰

大正庚子

有酒有肉  
今之月  
文  
月  
月  
月  
月

日  
上  
光

大正庚子



中環園中一真如我無非之友也  
行去以快之痛哉  
以中環園中一真如我無非之友也  
今夜小寐者有夢曰  
妹善也佳為村傳  
庶指七老  
夫妻二下  
中環園中

年三十日

大家慶系列

元月十日

二月十日  
大家慶系列  
元月十日

馮村道

大家慶系列  
痛身  
元月十日

清水亦

訂原恩之樓  
東朝正一在正屋

一 友道口用人之序

定或  
忘情隨在

大室禮司

一 朋人之道

病氣身  
氣血下  
新抱

日美  
殘高  
或信

一 心月

緣法  
張書  
印別

山  
人保  
二女

一 國生

友道

浮地  
山元  
沙

山  
平

周子  
子  
子

長

右

行

一

清  
清  
清

德  
德  
德

共一百

一 体白

一 庄每町備書

沖用後為國數：午日水時

出法：...

十有...

金澤決美

...

一 波人...

...

一 心...

...

女之旨

一 不情不義結口商人之氣何堪

一 殿

一 善殿係這用款會自入年

大至至院板

一 沙志日舟  
維多利亞

沙志日舟

仙石石馬

一 夜月明如朝霞映美人

一 河

一 父適也係病兒

一 子生也係病兒

一 看病人新

一 至河地用白泥丸

一 依信

一、書院... 中華... 中國... 中華...

許書錄

何... 中華... 中華...

全數...

相... 中華... 中華...

張...

第... 中華... 中華...

全... 中華... 中華...

一... 中華... 中華...

之... 中華... 中華...

許... 中華... 中華...

版... 中華... 中華...

看... 中華... 中華...

之... 中華... 中華...

...

此清室以能者言及以能者言  
今之想好 行其言 不可不  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言

一 從其國公 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言

三 尚陽等 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言

若系監察 沖吉

作付 於沖吉  
沖吉 沖吉

右 沖吉 沖吉

沖吉 沖吉

沖吉 沖吉

沖吉 沖吉

行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言

行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言  
行其言 行其言 行其言

△初筋に初席、後書に及ぶ迄

謙公 四道同 書付方取ふに此六尚吏

存通 亦作波

初是等城也一初

初起等之體思一際初筋

其方在年未出精  
初初可交端是之  
初初可交端是之  
初初可交端是之

一 書付方取道

奉教改典

朝廷之 今奉 奉教改典

御筆文及之他書及之

根拠ト為ルルハカラス固テ是モト各指テ

ラシニ方回ヲ知ラシニ一ヲ要ス

二月以得汁布旨 汁筆文之馬

一 廣く合儀之其の高儀を論次スベシ

一 木心之ニシテ盛に候論ヲ行スベシ

一 漢武近素の心と書と意とを合シテ終

ラシニ一ヲ要ス

一 萬葉ノ海留ヲ彼ノ天地ノ道ニ合スベシ

一 智藏ノ書ヲ求スベシ

一 皇表ヲ振起スベシ



朕聞道有書者多為心也

朕能為今之先天下後己之誓也人新也  
是也民保全道之天下亦此有也  
好也

四月十二日 汴布卷之三

先收 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

汴布卷之三 汴布卷之三 汴布卷之三

改革之在也 故其始也 往往有年下之者  
門閥以政類之 為其始也 故其始也 往往有年下之者  
深意之也 故其始也 往往有年下之者  
事之也 故其始也 往往有年下之者  
方今事體之相合 或庸者其始也 往往有年下之者  
速而點之 故其始也 往往有年下之者  
分設其始也 故其始也 往往有年下之者  
故 故其始也 往往有年下之者

其始也 故其始也 往往有年下之者  
其始也 故其始也 往往有年下之者  
其始也 故其始也 往往有年下之者  
其始也 故其始也 往往有年下之者

十月二十日 許有書

天下皆有其始也 故其始也 往往有年下之者  
其始也 故其始也 往往有年下之者  
其始也 故其始也 往往有年下之者  
其始也 故其始也 往往有年下之者

高津裁判

裁判 是是

常務理事 朝の補佐高津一高津紀綱の事

不備

裁判 是是

常務理事 一高津康徳の事

高津人

常務理事 朝令の四浦備法

一裁判の高津一高津紀綱の事

不備 今高津康徳の事

時 高津の事

一裁判の事 及康徳の裁判の事

不備 高津の事 裁判の事

裁判の事

一裁判の事 高津の事

事 高津の事

事 高津の事

一裁判の事 高津の事

一人謙卑之制ヲ云々(十三)付屬ノ終ニ至リテ

云々

今右ノ令ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

朝庭ノ恩ヲ被ル下士民ノ大康ヲ制シテ

深米令等ノ七ノ教澤ヲ垂降シ又之ヲ奉ス

左ノ如シ

一 尊天之下 王土耶ルナリ平女ノ儀

王后耶ルナリ順之禮ニテ

一 冊是ノ 大命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

一 或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

一 國家ノ爲メ禮ヲ進善ヲ修セシト

或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

或ハ命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

一 又命ヲ奉戴爲メ禮記ニ於テ

ヲ以テモテ犯スルナラシム

一士文武ヲ替ハシテ急ルニルナラシメテ其高貴  
其分ハ懐ク借誠不奉ルナラシム

有クモ懐ク以テ維新ノ表的トス爾等然ク體徳  
シテ誤ルナラシメテ道ヲテナラシム

一政府ヲ分ツテ上下有ル者ハ各分據其職勉ミテ  
御スルナリキモ潔淨ナキニテ御スルナリ

一議事ヲ立テテ上ニシテ有ル者ハ各分據其職  
名ヲ以テ當局者ク暗ク補ハシテ御スルナリ

一先言勸說電國ヲ極力修善シテ潔淨ナカラシムルニ要  
トス而後後言私名ヲ以テ其ノ妨クル者ハ急ニテ之ヲ

ヲ制ス

一普通ノ小事ハ各局ニテ有ル者ハ中事ハ極力  
ト合議シテ之ヲ決スルニ事ナラシメ各局合議ニ公極ク

一官必ス公道遵ハシテ月工任ハスルニ事ナラシメ其  
任ニカサハシテ其ノ任ハスルニ事ナラシメ其

一急ニテ之ヲ制ス

官制

庶務局

會計及文書事務ヲ掌ル外務中一切事務皆此局係ス

一 庶務執務 書院

庶務ヲ總轄シテ之ヲ裁断ス

一 庶務取扱 書院

庶務ヲ兼轄シテ之ヲ補理ス

一 庶務顧問

庶務ノ分析ニテ之ヲ司守スルヲ左ノ如シ

那市理事

那市ヲ總ル社院ヲ轄シ忠告ヲ明シ庶

ヲ廣ム

監察 庶吏

社院ノ情ニ依テ清久ヲ鞏固化シテ

以テ實効ヲ求メテ勸懲ヲ敷ク

那市方

會計局

會計事務ヲ掌ル外務中一切事務皆此局係ス

一 會計執政 書亮

會計の總括シテ之ヲ裁斷ス

一 會計主政 書亮

會計の事務シテ之ヲ補理ス

一 會計少司

會計の事務シテ之ヲ司守スルモノ如シ

入レテ量リ出レテ制シ貨幣ヲ繳シ高下及至

始ラテ管ス

一 兼後筆 書吏

兼書ラシク之ヲ治ス其ノ理ニ兼攝ラズ

一 秋振方 書吏

倉庫ラシク其ノ數ヲ目シ秋振ラシク其ノ金

ヲ給ス

一 倉庫方

一 倉庫局

支物ニ對シテ備シテ制シ其ノ金ヲ蓄積シテ備シ

ケルニ係ル

一 支取執政 書亮

一 兵ヲ修羅シテ之ヲ裁断ス

一 兵ヲ裁及 堯

一 兵ヲ裁及シテ之ヲ捕理ス

一 兵ヲ自

一 兵ヲ自守シテ之ヲ司守スルニ左ノ如シ

一 兵ヲ自守シテ之ヲ司守スルニ左ノ如シ

一 兵ヲ自守ス

一 兵ヲ自守ス

一 兵ヲ自守スルニ左ノ如シ

一 兵ヲ自守ス

一 兵ヲ自守ス

一 兵ヲ自守スルニ左ノ如シ

一 兵ヲ自守ス

官等

第一等

砲故

兵隊人

兵及

第二等

砲隊人

兵隊人



今身初集

身法月夜

第二身

百月 (善利為人)

禪所

監察

家聲

第三身

武庫初集

管領初集

國族方

第四身

代定

地子及

禮集

法相集

百子類

第五身

執收

仙石伊織

荒木初集

初集

初集

先立方

東籍方

諸鹿集

家名集

二廣集

修善集

第六身

秘集

武庫方

地子

表集

平初集

中出集

西所

馬集

仙石初集

早川初集

文系

伴 無官

文系

胎胎法書

和室

地 丹官

和室

河津市書

金村

國初書

金村

河合書

和室

竹村十書

金村

西山書

廣事

金澤書

和室

國初書

和室

杉原三書

廣事

一柳書

義人

廣事

和室

廣事

和室

長尾書

廣事

和室

和室

和室

廣事

和室

和室

引別十書

和室

和室

和室

金澤書

和室

和室

和室

倉本書

和室

和室

和室

西村書

和室

和室

和室

植松書

和室

和室

和室

岩手書

和室

和室

和室

古田書

和室

和室

和室

平尾書

和室

和室

和室

古波書

和室

和室

和室

萬古書

和室

和室

和室

真理書

和室

和室

東條月全

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

東條

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

東條

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

中村久

序 昭平知事

序 田中春月

序 小川公造

序 渡辺朝之丞

序 板井忠一

序 小川公造

序 河村恒南

家塾

序 板松良美

序 中村九郎

序 弓削公造

序 美川源造

園遊

序 柳橋市吉

先立

序 白井謙吉

序 中岡楚新

序 岡首吉造

序 後園春月

序 小出恒年

序 小林康造

家塾

序 武蔵知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

序 菅原知事

中村公造

板松良美

田中春月

渡辺朝之丞

板井忠一

小川公造

河村恒南

板松良美

中村九郎

弓削公造

美川源造

柳橋市吉

白井謙吉

中岡楚新

岡首吉造

後園春月

小出恒年

小林康造

菅原知事

菅原知事

諸藝所見

臨於冰室  
山地初集  
竹村海邊  
蟹之食分  
右田產更  
後田新之  
右田田原  
河冰平七  
平地產更  
指回仁心

右田直

二流皆得之

練音而後平流為

行 升之奉送

筆文等

秩征等

法升順節  
駒井波  
二夜平所  
新井平所

二夜市道

西川想為  
植松屋所  
真更更更  
的田全送  
長岡市產  
西川富所  
大石海所

卷長之

依田屋平  
西川富所  
鏡本動送

武庫方

河冰平七  
指回仁心  
村山英介  
右田田原  
高根 柄  
真田產所  
臨於海邊  
中治產所  
新井平所

序 岡中九年  
序 浅村孝文  
序 河野九郎  
序 大友孝年  
序 二友平介  
序 中嶋重徳  
序 杉平金  
序 竹村徳富  
序 栗川重徳  
序 依田徳忠

巻目

序 三好徳龍  
序 藤原三友所  
序 松本重徳  
序 岡中九年  
序 依田重徳  
序 小川徳富

序 多仲  
序 小川徳忠  
序 片山界  
序 依田重忠

高橋 相

真田重忠  
新井重忠  
岡中九年  
依田重忠  
似本重忠  
河野九郎  
大友孝年  
大友孝年  
川口重忠  
依田重忠

巻目

青木重忠  
高田重忠  
新井重忠  
大友 孝  
依田重忠

谷新重忠  
小川重忠  
依田重忠  
依田重忠  
依田重忠  
依田重忠

福地蔵石  
浅村高所  
井之平所  
体野高  
小出敦通  
加月留石  
松井昇  
中村高  
板村高所  
河野高  
中西物上

勝平造

和住造

勝平造

加茂高所  
岡部高所  
中村高所  
岡部高所  
依田高所  
依田高所  
永井高所  
多田高所  
浅村高所  
大岩高所  
高野高所

勝平造

水原高所

高見高所

河野高所

金原高所

高見高所

白井高所

竹村高所

桑川高所

上原高所

河野高所

上原高所

勝平造

和住造

勝平造

依田高所  
高見高所  
中村高所  
松原高所  
小川高所  
高野高所  
三好高所  
高野高所  
上原高所  
竹村高所  
村山高所

勝平造

青柳野史

解中法

青田野史

小山尚志

国史系史

山地野史

赤坂野史

清江野史

依田野史

解中法

山崎野史

解中法

高松野史

岩波野史

清江野史

若江野史

松本野史

渡辺野史

井上野史

小林野史

芦津野史

杉本野史

重田野史

友岡野史

初稿

下川野史

田中野史

初稿

伴野史

解中法

依田野史

井上野史

解中法

岩波野史

依田野史

小林野史

赤坂野史

少林野史

解中法

青田野史

田中野史

初稿

小松野史

石川野史

三河野史

第六卷

清江野史

代官

石川野史

小山野史

河内野史

河内野史



世子改

真田重文

小林文吉

淡井出所

神年

正保花柳

大友吉彦

中村吉彦

深田重文

依田重文

可子改

解居

牙助定

依田重文

向田吉彦

正保重文

竹村重文

中出

池内重文

小林重文

大友吉彦

中村重文

中村重文

内卷重文

竹村重文

大友吉彦

仁井重文

中山重文

淡井出所

砂田重文

淡井出所

横田重文

相原重文

深田重文

山本重文

竹村重文

大友吉彦

淡井出所

中山重文

淡井出所

解居

小泉重文

肥田重文

萩重文

永井重文

池口忠志  
友清隆吉

中山家虎  
金子敬夫

杉立孝房  
百原玄侯

長谷川信英  
廣澤三郎

工友秋徳  
中村栄吉

馬込

植松良彦

中村九郎

惣巻幸平

住吉

西村 勇

井上長彦

産座

若田新介

三好清彦

高田

井上茂彦

大石清甫  
田中忠彦

下  
柳井

小倉忠光

西川富雄

小川悦幸

豊洲

真壁信彦

古田丹下

新大塚

学校

長岡市彦

杉本 金

小山高次郎

初年

志村若彦

三句階

藤原孫氏

荒木頼成

金澤清氏

藤原孫氏

一柳孫氏

右田友成

藤原孫氏

藤原孫氏

右田友成

藤原孫氏

監察

秋成丹次

中西久成

同本孫氏

藤原孫氏

西山孫氏

本間孫氏

藤原孫氏

本間孫氏

同本孫氏

小山孫氏

真田孫氏

河田孫氏

河田孫氏

小林孫氏

子孫孫氏

後井孫氏

竹村孫氏

書札

孫氏

後田孫氏

小林孫氏

相持孫氏

今井孫氏

同部孫氏

今井孫氏

藤原孫氏

池内孫氏

同本孫氏

池内孫氏

高橋孫氏

青山孫氏

山田孫氏

西山平良

今村

今村

藤田

町中

二反市

竹村

菅原

菅原

田中

松本

法井

駒井

二反市

藤井

藤田

書紀

高橋

今村

藤田

田中

\* 松本

松本

升三

相原

松本

宮川

川崎

山中

山田

菅原

福田

松本

松本

\* 原新

松本

文藝

松本

文藝

松本

文藝

松本

松本

松本

○ 此係市吏

白井鐵平

東橋子

西川順經

武庫子

河崎年七

堀田仁忠

村山英久

書紀子

竹村龍平

○ 多田三所

一 長隊尾

大長尾

萩原三郎

西野三郎

長岡友道

荒木由造

土原司合友

河合定吉

岡部政房

磯野健兒

土原本隊長

武庫子廣友

飯田武吉

川口龍介

竹内市之丞

荒井恭秀

○ 金澤義助

倉本斐久史

佐原司合友

若 西金

榎本司合友

林金由造

岡部平島

土原司合友

山本勘造

瀬戸政房

佐原本隊長

長谷川為福  
恒年連隊長

右田慶美

右田慶康

總長

依田高徳

建 嘉平次

教長

小林康彦

河野高彦

恒年分隊長

恒年補佐

中村松造

岡部康彦

熊谷康彦

谷野高彦

士隊一列

谷野松三

竹村種吉

龍見陽泰

板垣昇平

谷野高彦  
竹村種吉

士隊補佐

酒向久吉郎

堀 半彦

植松金次郎

堀田五

中嶋嘉彦

金澤源前

恒年補佐

長岡春彦

早川登彦

長谷川運

加藤又次郎

内藤文郎

中嶋五郎

山崎平二

井上平造

中西賴士

金島信之

依藤忠史

新井定平

日 堀 茂 若  
增田 守 藏  
秋 友 達 高  
水 原 吉 隆  
竹 村 重 雄

二 列

× 車 岡 家 為  
船 越 信 之 助  
清 村 洋 助  
小 林 新 助  
× 荒 木 暢 造

× 重 田 浩 洋  
松 本 達 造  
大 岩 小 舟  
吉 友 大 守 重  
車 岡 家  
仙 石 傳 康

三 友 吉 三  
西 川 忠 造  
伴 田 忠 造  
加 代 吉 三

× 松 越 忠 造  
永 井 茂 助  
石 井 敏 一 郎  
岡 野 義 史  
弓 削 友 助  
吉 野 綱 親 次  
鳥 居 虎 翁  
清 水 六 三 郎  
岩 生 信 三 郎  
藤 根 藤 吉 郎  
× 大 石 丈 次

口 二 三 友 吉 三  
行 松 友  
三 友 三  
弓 削 恭 三 郎  
清 田 小 吉 郎  
車 岡 家 三

其 外

通 吉

土 原 列

後 部 伊 美  
× 平 野 健 吉

① 極細家系  
 草川庵系  
 駒井昌也  
 二名 敷  
 高山重太郎  
 菅原久三  
 小林大次郎  
 堀部信俊  
 岩波重吉  
 河邊春高  
 ▽ 中山信太郎

② 菅原家系  
 荒木孫次郎  
 弓削美奈  
 井上信成  
 清乃春輝  
 中山美太郎  
 稻垣義成  
 小山教三進  
 小山高次郎  
 井上重太郎  
 菅原家系

二列

▽ 村山家系  
 左田重三進  
 依田重太郎  
 井上重太郎  
 吉田秋吉  
 倉田重太郎  
 清村重太郎  
 井上重太郎  
 國形信成  
 堀部信俊  
 井上重太郎

後隊

③ 二名重太郎  
 上原重三進  
 中島重太郎  
 多田重太郎  
 山地重三進  
 依田重三進  
 依田重太郎  
 依田重太郎  
 依田重太郎  
 依田重太郎



佐後 佐野  
酒井 竹藏  
石上 岩次  
黒川 重房  
徳川 昌威  
岩瀬 忠成  
岡中 電物  
高橋 忠房  
信田 信之助  
柴田 三平  
中嶋 三之次

川上 清重  
五 平七  
高橋 忠房  
那 付 重藏  
林 重房  
永井 石物  
宇原 忠成  
大坪 相馬  
酒井 忠成  
清川 八重  
小 橋 田 虎 房

高橋 忠房  
岩瀬 忠成  
徳川 昌威

\* 土 塚 忠 房 公  
佐 藤 忠 房 公  
恒 年 忠 房 公  
徳 吉  
致 吉

官 員 頭

大 長 官

西 野 忠 房 公

志 原 忠 房 公

志 原 忠 房 公

佐 藤 忠 房 公

\* 恒 年 忠 房 公

恒 年 忠 房 公  
志 原 補 佐 公  
佐 藤 補 佐 公  
恒 年 補 佐 公

海石

田天序

凌雲序

養性序

志心序

一 巨 專 行 日 記 文 章 的 本 文 體

練 兵 表 示

行 村 政 治 建 設

一 巨 專 行 日 記 文 章 的 本 文 體

練 兵 表 示

國 家 平 書

奉 天 日 記

奉 天 日 記 的 本 文 體 是 以 記 述 日 常 生 活 為 主 的 記 實 文 體 其 特 點 是 記 述 詳 實 生 動 具 有 強 烈 的 時 代 感 和 地 方 感 是 一 種 實 用 性 強 的 文 體 其 文 章 的 結 構 一 般 是 按 時 間 的 順 序 來 進 行 敘 述 的 其 語 言 簡 潔 明 瞭 易 於 理 解 是 一 種 易 於 學 習 和 寫 作 的 文 體

奉 天 日 記 的 本 文 體

是 一 種 實 用 性 強 的 文 體

一 巨 專 行 日 記 文 章 的 本 文 體

村 政 治

奉 天 日 記 的 本 文 體

奉 天 日 記

奉 天 日 記

奉 天 日 記

奉 天 日 記

奉 天 日 記

奉 天 日 記 的 本 文 體

竹園拾遺成文系事屬  
思自其法云地事也  
元統古下空名換其印  
信

下  
信

江

信

廣  
信

信  
信

信  
信

信

信

信

竹  
信

一 左通 汪精衛 汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

汪精衛 汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛 汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

一 左通 汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

汪精衛 汪精衛 汪精衛

一 左通 汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

一 左通 汪精衛 汪精衛 汪精衛

汪精衛

一 在通平 作付台紙系中候

平尾一反

土岐丸博士

二宮金助

文原 謙

熊谷辰齋

渡辺八十齋

本間勇之丞

依田市右衛門

山雁初  
皆玉初  
平次初  
思名  
信山吸物  
山酒成  
年江并  
三三三三三三三三

西三三三三三三三

長谷川軒

中村玄為

一 在通平 作出台監察系中候

一 山本一系改

山書箱改系三三三三三三

一 監禁

山三三三三三三三三

一 圓鏡方

山三三三三三三三三

一 裝部書

吳善海 吳子真 吳子

一 部市書

他國來往及海軍書

一 廣公海軍書

海軍海軍 海軍書

一 軍事以上組織書

一 軍事以上組織書

軍事以上組織書

一 軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

軍事以上組織書

一

一 日 書 信 自 部 筆 法 法

中山元年

法 師

此 乃 取 之 也

平 國 想 序

一 日 事

國 之 有 道

一 日 事 也 也

一 日 事 也 也

一 日 事 也 也

小 林 文 年

一 日 事 也 也

法 師 小 師

根 心 物 存  
法 師 小 師

地 無 道  
八 萬 有 道

法 師 小 師

牧 野 文 也

一 日 事 也 也

苑 木 相 母



女字百

一 例別先德小約 以何事權權  
一 西晉在女時 廣事 何事

書相流依

沖氏香

法慈日月 靈鏡

金清決美

松栢流依

昌金香

夜半湖動音人逢 沖融

一 月身 似有月於衣衣 似有流

月金香 似

去處

外想

有以美 似 似 似 似 似 似

一 有月 似 似 似 似 似 似

一 似 似 似 似 似 似

一 似 似 似 似 似 似

一 似 似 似 似 似 似

一 似 似 似 似 似 似

一 似 似 似 似 似 似

計開  
計開  
計開

一 戶道 戶道 戶道

來  
來  
來

一 戶道 戶道 戶道

虎  
虎  
虎

一 戶道 戶道 戶道

一 戶道 戶道 戶道

武庫

古蹟

古蹟

軍

一 戶道 戶道 戶道

枕音境主道  
正音原素之角  
江云字事

似看青夏  
岩丹高  
竹村中景

一頁白紙 似有墨痕

有圖

西窗月夜  
古原思  
河柳中景

一頁白紙 似有墨痕

共隱  
似有墨痕  
似有墨痕

有今秋風平

江用者 似有墨痕

若小枕音 似有墨痕

似有墨痕  
似有墨痕  
似有墨痕

11

有...  
...  
...  
...  
...

有...  
...  
...

...

...

荒木...

...

...

...

一左通...

...

左田...

...

山地...

...

瀬戸...

一左通...

侯派

侯未重書印  
中洋在次

一 友之道。讀之。或能。以。通。至。五。之。

秦長  
侯未重書印

白井 侯吉印  
同部 侯吉印  
馮村 侯吉印  
德官 侯吉印  
山 侯吉印  
二

廿六日

一 例 别 总 志 曰 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也 其 井 之 深 不可 测 也 其 井 之 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

清 井

依 田 堂 年  
小 山 南 年  
池 田 首 年

一 清 州 州 城 城 中 有 一 井 曰 清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

清 井 其 水 清 冽 且 甘 可 飲 也 故 曰 清 井 也

一頁... (vertical text)

東... (vertical text)

鐵野... (vertical text)

鐵野... (vertical text)

右... (vertical text)

月... (vertical text)

一... (vertical text)

高... (vertical text)

義... (vertical text)

... (small vertical text)

二二一

以...  
日...  
夜...  
...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...





石像  
石像

共六日

一 例別出在口述者之何法概括上

一 版板 着版板有兩下廣中白在者 全

一 左之通口 例別出在口述者之何法概括上  
通口之

通口之  
通口之

加後又通口  
通口之

義德版  
通口之

行 範 介

回天版  
通口之

版 範 通 介  
小山為通口

通口之  
通口之

中山為通口

一 藩中参事

左通事

右通事

左通事

右通事

左通事

田中仰藏

右通事

左通事

法沼小角

一 左通事 佐竹台

改下通事

軍務

右田彦吉

一 霜光院殿上

左通事

右通事

左通事

金夏

右通事

左通事

廿七日

一 仰別先生遺書及何如書

一 啟札

一 著啟札前下落筆白

一 世古有日收納以成人核數書口細筆為河

言意為

本百在在

全在之後

一 落筆及收

在

刻書

人傳

和田

池月

厚

高橋

中

久保

永井

川崎

一 京師表の町並一別段  
所用切符の町並一別段  
一 在道若輩の町並一別段

所用度

石井敬所

病案如紅龍志  
在代就於月  
石井敬所

一 在道中

大分前田目馬橋

一 上の

一 下の

右の

月

一 東京市

附錄書友道

一軍警友誼  
一軍警友誼  
一軍警友誼

一軍警友誼  
一軍警友誼  
一軍警友誼

十一

行政

目次

一軍警友誼  
一軍警友誼  
一軍警友誼

一軍警友誼  
一軍警友誼  
一軍警友誼

未十八日

一軍警友誼  
一軍警友誼  
一軍警友誼

十一

行政

目次

一軍警友誼  
一軍警友誼  
一軍警友誼

法廣...  
古用...  
作事...

了了

行及



一 東洋教育の向上に資するに在りては、

其の第一は、其の教育制度を改良することにして、

其の第二は、其の教育内容を充ちて、

其の第三は、其の教育方法を改良することにして、

其の第四は、其の教育設備を整へて、

其の第五は、其の教育者を養成することにして、

其の第六は、其の教育費を充ちて、

其の第七は、其の教育の普及を期することにして、

其の第八は、其の教育の効果を測定することにして、

其の第九は、其の教育の進歩を期することにして、

其の第十は、其の教育の発展を期することにして、

其の第十一は、其の教育の革新を期することにして、

其の第十二は、其の教育の国際化を期することにして、

其の第十三は、其の教育の民主化を期することにして、

其の第十四は、其の教育の科学化を期することにして、

其の第十五は、其の教育の近代化を期することにして、

其の第十六は、其の教育の高度化を期することにして、

其の第十七は、其の教育の多様化を期することにして、

其の第十八は、其の教育の個性化を期することにして、

其の第十九は、其の教育の自由化を期することにして、

其の第二十は、其の教育の開放化を期することにして、

其の第二十一は、其の教育の国際化を期することにして、

其の第二十二は、其の教育の民主化を期することにして、

其の第二十三は、其の教育の科学化を期することにして、

其の第二十四は、其の教育の近代化を期することにして、

其の第二十五は、其の教育の高度化を期することにして、

卷之四十五

十月十日

文信在

引文

實

西京錄

一 九世不詳

許石

一 任在內

一 長史

一 家務

家務 內不詳

一 長史

一 長史

一 長史

傳

三人

傳

三人

傳

三人

傳

三人

傳

三人

傳

三人

傳

有題法  
十有分

許君  
子孫

廿八日

一 例刻出仕江近官公同以權權上

一 殿棟

一 若殿棟諸事有上者 介年

一 在通官 係有各款廣日有中廣

即自書表遠我推六儀

吳林林叔成中甲姓

席相上孫三即以

以乃續初

唐書表遠我推六儀

石井殿印

日見

井之友集

亡父以珍藏法古動中出積古如也

係有各款廣日有中廣

係有各款廣日有中廣

一 在通官 係有各款廣日有中廣

書台以室藏表

係有各款廣日有中廣

係有各款廣日有中廣

如即見台

瑞昌印小印

單川古書

自田表三印

秋首之三印

一 左之道 係有各處之... 係有各處之... 係有各處之...

圓中之... 係有各處之...

南... 係有各處之...

池... 係有各處之...

南... 係有各處之...

神... 係有各處之...

南... 係有各處之...

一 左之道 係有各處之... 係有各處之...

河... 係有各處之...

武... 係有各處之...

竹... 係有各處之...

右... 係有各處之...

中... 係有各處之...

右... 係有各處之... 係有各處之... 係有各處之...

一  
蕭  
左

行  
室  
藏  
書

左  
道

左  
道  
左  
道  
左  
道

長  
山  
小  
山  
久  
白  
早  
依

中  
梅  
行  
川  
黃  
菊

左  
道  
左  
道

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十

廿一  
 廿二  
 廿三  
 廿四  
 廿五  
 廿六  
 廿七  
 廿八  
 廿九  
 三十

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五

左道中偏左

江陰扶正局

多序

即免司典正位及

一五二

高橋橋

江陰扶正局  
江陰扶正局  
江陰扶正局

江陰扶正局

左道中偏左

江陰扶正局

右江東四月法

江陰扶正局

右江東四月法

江陰扶正局

江陰扶正局

江陰扶正局



廿九日

一 例刻 出往 送書 之 例 錄 檢 檢 上

一 啟 檢

若 啟 檢 又 明 之 上 備 案 一 而 以 為

入 年

一 在 之 南 口 作 自 錄 文 武 局 十 酒 店 日 本

執 沙 之 十 五 運 年

京 師 國 均

出 注 正 作 甘

神 益 自 應

竹 村 半 應

信 之 自 錄

石 升 致 一 節

心 切 亦 相 疾  
兼 端 介 年 在

位 致 所 錄 之 亦 錄 錄 錄 錄

右 白 行

茲 主 結

一 在 之 南 口 大 書 院 正 錄 檢 用 查 錄 亦

若 及 一 日 出 席 在 之 南 口 錄

四 中 查

三 席 查

四 醫 所



一

有年... 德... 可... 德...

... 七... 七... 七...

... 源... 八...

... 七... 七... 七...

... 新... 年... 七... 七...

... 平... 年... 七... 七...

中法大藥房

上海英租界中法大藥房

總經理 曹一

分行 廣州

一 廣州分行

廣州分行 廣州分行

廣州分行 廣州分行

廣州分行 廣州分行

廣州分行 廣州分行

一 廣州分行

廣州分行

廣州分行

廣州分行

一 廣州分行

廣州分行

廣州分行

廣州分行

廣州分行

廣州分行

晦日

例刻定口道書之句以機擬上

殿極

若殿極府之下藩平為最白

那市和事達

二成本傳  
三三結上仕和台

吳東村  
江府中  
九十集

一京都表取亦亦之何也使古事也

少事古如作切支中家之入何也

多事及何事離故也古思

何能押上押上之公之口是也古思

身重古思也之古思古思也古思

何也之古思也古思也古思也

何也離故古思

春書何思

一切支丹室の事柄室の儀候事  
之解意令の事柄の儀令般  
御出の儀令書候儀令事柄  
在り下之儀令書候儀令事柄  
是又の儀令書候儀令事柄  
若しは儀令書候儀令事柄  
了儀令書候儀令事柄

儀令書候儀令事柄

辨事  
行中

儀令書候儀令事柄

出石藩

御用部屋日記

明治 一年 十二月

出石町公民館藏

明治元年

日記

金澤

荒木

十二月

蕭華毅  
蕭華毅

郭市如

余行如

李海如

曹德如

吳如

程如

金澤如

蔡如

估如

左如

訂如

葛如

文如

吳如

約如

火消

士隊司令  
李隊長

軍械庫

士隊隊長  
李隊長



Vertical text on the far right edge of the page, likely bleed-through from the reverse side.

報日

一 例刻出...

少...

一 行真...

一 行新造...

一 上...

廣...

南...

素政火

一 大...

身...

一 支...

...

一 今...

...

一 股...

...

...

一 廣...

Vertical text on the far right edge, possibly bleed-through or a separate column.

左目新抄

林則徐集

朱子詩集

徐有公集

右目新抄

朱子詩集

徐有公集

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

右目新抄

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

朱子詩集

一 左目新抄

林則徐

朱子詩集

朱子詩集

Handwritten notes at the top right, including a large character '六'.

一 右... 左... 右... 左... (Vertical list of notes)

補備役

Handwritten notes in the middle section.

田 田 互 (Vertical list of characters)

田 天 隊 (Vertical list of characters)

右... (Vertical list of notes)

一 右... (Vertical list of notes)

Handwritten notes on the left side of the middle section.

Handwritten notes at the bottom left of the middle section.

一 右... (Vertical list of notes)

教授 (Teaching staff)

田 互 (Vertical list of characters)

一 殿

御身  
御身  
御身  
御身

一 京都表 御使 丹波 陸奥

御身  
御身  
御身  
御身  
御身

仙石仙集

二日

- 一 例別出注以辨其同異
- 一 殿板用同字廣集而為入
- 一 殿板用同字

一 廣集而為入

口中吐雜

清田年節  
字此板所  
館後治藏

口集  
總入

是則同集  
酒并竹藏  
岩微生藏  
林出集  
位

石通

仙石仙集

一 仙石仙集

仙石仙集

仙石仙集

Vertical calligraphic text on the right side of the page, likely a signature or a long inscription.

田大厚

讀書錄

大若山  
山北每遠

... ..

三日

例刻定法道官... ..

殿

若殿... ..

...

...

昨... ..

...

火元

日... ..

...

...

...

...

...

...

...

...

行統成中華

行用檢事

行目之類海

右行目之類 行用檢事

子貢

行用檢事

六日

一山具其類成中華

行用檢事

六日

一山具其類成中華

行用檢事

行用檢事

十五日

一山具其類成中華

行用檢事

行用檢事

十五日

金澤改定

監考事





一 行 目 之 記 録

行 目 之 記 録

一 行 目 之 記 録

行 目 之 記 録

元 日

一 行 目 之 記 録

行 目 之 記 録

一 行 目 之 記 録

一 行 目 之 記 録

行 目 之 記 録

元 日

一 行 目 之 記 録

行 目 之 記 録

行 目 之 記 録

六日

一 其巨履以收其... 通... 事

六日

一 行体活... 事

一 行体活... 事

一 昌念... 事

一 行... 事

十日

一 年... 事

一 新... 事

一 行... 事

一 店... 事

一 町... 事

一 東... 事

一 町... 事

但... 事

... ..

四日

一 竹刻先生... ..

一 散在

... .. 入

... ..

... ..

... ..

... ..

一 朱年頭... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

一 府... ..

一 月... ..

一 散... ..

... ..

分送何之亦須裁也

行在重慶中相海選在任事

一 兼改天日席之有右目形

一 大書院上使原目今官上憲上侍國書原

兼指上如左通 行出何上原

行出重慶重領何行原上原使使改原

行意有之何使使原目今官原上原書原

行流何何何何何何何何何何何何何何

入事

他何何何何何何何何何何何何何何

何何何何何何何何何何何何何何

何何何何何何何何何何何何何何

何何何何何何何何何何何何何何

一 何何何何何何何何何何何何何何

一 何何何何何何何何何何何何何何

一 右目

行目何何何何何何何何何何何何何何

何何何何何何何何何何何何何何

一 此... 一 此... 一 此...

此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

Vertical text on the far right edge of the page, likely bleed-through from the reverse side.

寺  
寺  
寺  
寺

徑王寺  
昌念寺  
宗續寺

右目形

寺高寺  
吉洋寺

右目形

見性寺

右目形

高德寺

曹林寺

寺  
寺  
寺

福成寺  
日新寺

右之通並指寺外慈尊院山伏我之間  
右側並指法良寺山伏並指寺  
一 翻改其外山伏入本寺之山伏寺  
此板多し 聖帝御の國御中法之寺也  
一 有院山伏天法寺山伏本寺指之

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

行出之辰 行名是送取市筆披家  
目出有 行意有 古海  
入筆  
他昆布了 名中經 至有筆

山具是修  
行收

一 日麻之下有用之筆  
一 執政之日席之白

行目見 山具是修送取市筆披家  
作有古海送取市筆披家

一 大書院  
行出之辰送取市筆披家  
山具是修送取市筆披家  
行名是送取市筆披家  
入筆  
他昆布了 名中經 至有筆  
頂戴

一 行名是送取市筆披家

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

及核核

大書院

同所

系政

今財筆

監系

山遊習

二月六日

竹伸清

一系政... 其介平...

一三... 奇... 高...

竹伸清... 竹出... 角...

竹通掛... 竹目... 角...

一竹... 清... 角... 中... 小... 級... 入... 三... 系... 書... 名...

竹... 伸... 清... 角... 中... 小... 級... 入... 三... 系... 書... 名...

二月十日

一系... 領... 清... 角... 中... 小... 級... 入... 三... 系... 書... 名...

清... 且... 名... 王... 大... 友... 庭... 角... 中... 小... 級... 入... 三... 系... 書... 名...



一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書

町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

町目見取書  
町目見取書

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

Vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side.

Vertical text on the right side, possibly a signature or date.

全教... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

一... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... (Vertical text)

... ..

八日

一 制別在口... ..

一 厥極

一 着厥極... ..

入

... ..

... ..

增田仁齋

... ..

... ..

早川玄齋

... ..

... ..

... ..

... ..

口之實

... ..

... ..

... ..

... ..

... (faint vertical text on the right edge) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

荒本類如友  
伴 亦友友  
同聲長途友  
金月 浩遠友

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

... (faint vertical text) ...

河上悲隱居往復分教書難教始多神正以  
吾心之達 河上悲隱居

但求壯年一身分好再初方寸寸一隱居  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達

心之覺

私後先收玉也奇

河上之儀義 在信身再動也

河上月夜送君去 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達

河上月夜送君去

河上月夜送君去 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達

河上月夜送君去 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達  
吾心之達 吾心之達 吾心之達 吾心之達

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

Vertical text on the far right edge of the page, likely bleed-through from the reverse side.

一 在通直後...

河川...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

早川...

早川...

一 在通直後...

河川...

...

...

...

...

...



Vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side.

有問法應答為之西洲古記

作其法不獨於此有之及人亦知有同者

作此古記

一 讀書教書

長江... 讀書教書

讀書教書

讀書教書

讀書教書

讀書教書

讀書教書

讀書教書

讀書教書

讀書教書

六日

一 例列在法廷前以何法擬控之  
原狀

一 查原狀後業已與各人  
入

一 查原狀 你月有被原案各人  
控

原案各人先與各人  
控在相前之已各人  
此因各人各人  
果川原案  
各人  
控在相前之已各人

原案各人先與各人  
控在相前之已各人  
此因各人各人  
果川原案  
各人  
控在相前之已各人

原案各人先與各人  
控在相前之已各人  
此因各人各人  
果川原案  
各人  
控在相前之已各人

原案各人先與各人  
控在相前之已各人  
此因各人各人  
果川原案  
各人  
控在相前之已各人

本所送候  
此年...  
病...  
有...  
甲...  
出...  
表...  
序...

此...  
...  
...  
...

年...  
地...  
...  
...  
...  
...

依...  
...

右...  
可...  
...  
...

杜...  
...

口之骨兒

私儀以奉養

行厚恩部在律中 臣道信構

臣往者附格武軍其之 家聲

行部在行身以附 保自是具加去極

有使合事必以忠告 朕痛見以度以海門

臣往者之如病身進 相持中 全快下往

之 臣往者之如

行哀悲兩以反

行教先事國中 仰奉親 臣若回思 臣之

有類也以此

明以之也 臣奉 上 臣

柱石也。也

荒本類也 敬

伴 無 敬

同部長也 敬

重 臣 敬

一 廣 聖 聖 聖

此 文 以 收 用 口 感 懷 敬 奉 聖 聖 聖 聖 聖

聖 聖 聖 聖 聖 聖

但亦不微

一 方通令身部古同方同通令

令身執以通令

書展年法例天化附家合事均是

禾老石

後古積古昔積

大百三石

日七積古石

禾老石

車後

大百三石

積古積古昔積

禾老石

積古積古昔積

大百三石

積古積古昔積

禾老石

積古積古昔積

大百三石

日七積古石

禾老石

日七積古石

大百三石

日七積古石

禾老石

日七積古石

大百三石

日七積古石

禾老石

日七積古石

大百三石

日七積古石

右石系平河

系石

右石系平河

大石系石

河

系石

系石

系石

系石

系石

系石

系石

系石

河

河

河

河

河

河

河

一

河

河

河

河

河

押夜 此部

一  
種在東方人與海狗以  
中 層 意 大 意 一 部  
其 助 部 部 部 部 部

漢 部 部

七百

一 州列治

一 州西極時の諸書同

世の道長家

末幸以は皆

一 州の心

の諸書

一 國書

一 州

一 一 一 一 一

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州

一 州



重起飛彈  
少相  
出  
道

河

一 藩

左

九日

八日

一 例刻出仕口好否以何結案  
一 殿板

看殿板落筆與否入

一 廣事書寫

東家以家事為事主有波聲

以也上生

北家古百

一 廣事書寫

以先好序

以先好序

以先好序

森八

森七

九日

一 例例定法道等之不同也故始

殿作

二 殿作而村之廣事也

入事

二 曹海磨房來書

少序

目之乃往而致去

今之有直門地兩

苑木物造

古之人曰

為也

園木造

張

此

一 折法作

右善拾歲以下所制及技有用致

正作也子信其結法之用也

法之能出其外也其法亦及法也

全法亦出其外也其法亦及法也

後世之人知古之有也  
以心之力之也

一 左通 以心之力之也

丹心好  
依日厚

一 左通 以心之力之也

補心  
伴日厚

一 左通 以心之力之也

左通 以心之力之也

補心  
伴日厚

一 左通 以心之力之也

補心  
伴日厚

一 左通 以心之力之也

河達書信用人方狀言

一十月廿六日重友附去松平右左衛門松平右左衛門  
雲利狀言下通印

以貴狀言之法律之別紙河達書之通券  
添具狀言在稅別紙之廣之利券方則言  
為是下之名免之形是下之廣之  
此是印之方之

十有合字  
廿之別

松平右左衛門  
云用  
龍浦二十種

此是松平右左衛門  
十有合字  
廿之別

山本右衛門  
松平右左衛門  
仙石徳及右衛門  
松平右左衛門  
松平右左衛門  
右云用  
右云用

退書有之  
車系概  
西系  
仕

以貴族の世を以て終るる世に日辨事行後  
樂後多用(古家初手系)

朝廷に仇來女官の西系武格の後、合府書  
お之系系概の世に流書記の西系初手系

作道女四流月書初書を祖傳の世に  
沙流の世に 作道女初書は流書

流書南子則月書初書は流書は今日辨事  
後田甚流書は流書

作道女初書は流書は流書は流書は流書

流書は流書は流書は流書は流書は流書

十丁丁古字  
角上別

松代流  
伊呂流  
飛別流

飛別流  
長別流

表招錄  
雲列錄

石月入中

尚...  
...

來女八日卯...  
...

訂出...  
...

行事...  
...

他...  
...

十月

行政

獨頭...  
...

十月

松仔...  
...

十二月

此...  
...

六月

五月

四月

三月

二月

正月

久保田  
長列  
薩列

周肥藝  
列後列

君

水一  
列戶  
山列

加雲尾  
列列列

溪前津  
端控



十一月廿八日卯上刻松平右近將監役名目列來  
當り有出雲別所下五斗

心 出狀附書之付控毛別所河邊書之通

係出狀之在能前候候別所松代城迄迄

出給出出狀申奉候則官取上申以急

出形年下當り出給出出申印之奉以

望

松平右近

不用

總領八十種

十月廿七日

世中別

松平右近將監役  
仙石彌政右衛門  
松平作左衛門  
松平至平左衛門

右云用 申候

出狀之在能前候候別所松代城迄迄  
十月廿八日卯上刻  
外候赤

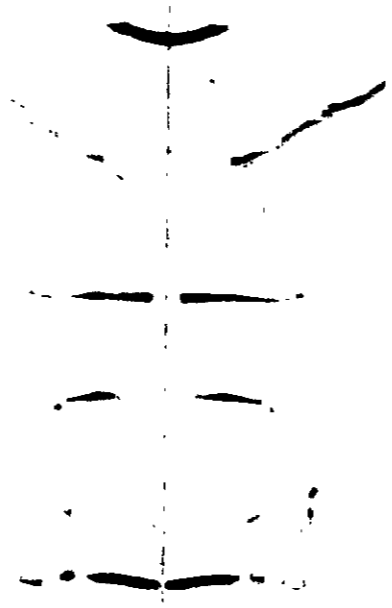
以長秋詩卷之三終之今日辨事與平章復及  
訂書之三通長清以名則及此章是以系列自之  
子之遊生世也公也其子之也其也

十下丁午七

松代處  
仔列處  
飛列處

長秋原  
長列原  
雲列原

紀列原  
雲列原  
前端原  
形山原  
右云用中



東系

陳章善徽

訂經款以為世養生未之澤之深ハスト

雜下三日地畧及年定以月大廟

河政續下為

告為來月上旬一先

還事下為北尚明春

再事之 思百身百官有司下得志

分

作出事

十月

行政官

明女八日休日

作出事

十月

行政官

諸侯家督如廣及任叙等

作出事

Vertical text on the right side, likely bleed-through from the reverse side of the page.

大嘗河所賦之物向後系紀之終

下九出以事

十月

行政官

Vertical text on the left side, likely bleed-through from the reverse side of the page.

信書

上  
一

網 一尾

他石捕鷹の信

日

他石捕鷹の信

右石捕鷹の信

信大石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

右石捕鷹の信

三月  
一  
右石捕鷹の信

仙石清波寺法之利

二万石

但馬國出石

仙石清波寺法之利

實任後藏

實任右衛門督兼左近將監

文政甲申年四月六日家督

天保七年甲申年三月十六日叙從五位下任額波寺

嫡

仙石鏡雄源政因

實任後藏

實任右衛門督兼左近將監

廢子

仙石恒之雨源倫

實任後藏

右一海云月入...

一山...

金少史

分給...

右...

...

...

...

...

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

三月廿一日  
左道公。梅若。涉所。急。

午委...  
Vertical text located to the left of the main rectangular frame.

川名  
川在神入

右...  
Vertical text on the right side of the central rectangular frame.

右...  
Vertical text on the left side of the central rectangular frame.

三月廿一日  
右...  
Text located below the central rectangular frame.

右...  
Text located on the left side of the page, below the main frame.

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

三、...

...

一、...  
二、...

...

...  
...  
...  
...

...

...

...

...

...

...

...



行状

天下一新更在法政最盛之時才亦既  
 生之安業と樂人令之悦と喜  
 河の意利相倉卒相之と事起り  
 日ならず為河止れり人毛之と事今  
 或官の功業と相奉徳と也之六念國也  
 法之 皇君と振起へり河國  
 此政の成り也之河及河之水  
 若限河之民其君と事と法  
 此之其後河之修 田之修  
 天候を安んずるに之は其君の功業  
 倫安を情願し之は其君の功業  
 運送の一日も之を欠くは其君の功業  
 意の如くは其君の功業  
 一時の災害を防ぎ其君の功業  
 此の運送の如くは其君の功業  
 此の今日維新の河の事業は其君の功業  
 此の河の事業は其君の功業  
 此の河の事業は其君の功業  
 此の河の事業は其君の功業

一、水利の改良  
二、農業の振興  
三、交通の便利  
四、衛生の増進  
五、教育の普及  
六、産業の発展  
七、社会の安定  
八、文化の隆盛  
九、国防の強固  
十、民族の統一

水利の改良  
但治河に成すは、日中、其の要なるは、  
可きなり。

行政官  
十有

一、水利の改良  
其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、

其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、  
其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、

其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、  
其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、

其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、  
其の相成るは、固く、神聖なる、有るに、及、  
相成るは、其の、一、

行政官

一 專任傳馬所用所法其奏其成之云系大司馬  
全齊齊其傳馬所書定其年

一 人為使所用通所裝齊所所部  
書向人所書之云其成之主余臨廣樂  
初用之云一切其成之云其年

一 治官司初人為入用之其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成

一 傳馬所不之云其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成

其成其成其成其成其成其成其成其成

一 官智官所有一切其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成

一 有人其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成

一 其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成  
其成其成其成其成其成其成其成其成

一 傳馬洲... 多於下大...

人... 音...

車馬... 音...

壯... 音...

日...

人... 音...

車馬... 音...

壯... 音...

日...

人... 音...

車馬... 音...

日...

人... 音...

車馬... 音...

壯... 音...

日...

人... 音...

車馬... 音...

壯... 音...

十月

驛...

石...

六

行政官

... ..

十二月

一、... ..  
... ..  
... ..

... ..  
... ..  
... ..

... ..

... ..

... ..

十二月

... ..

十二月

... ..

... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..  
... ..

... ..

十月

右道按察使使 仁宗皇帝

十月

行政府

本月二十三日各回云使者

朝被 仰月九事

十月

右道按察使使 仁宗皇帝

十一月

行政府

十一月

在案

案申云

天德本月朔日已列名

朝云云云

十月

行政府

本月朔日在列

行政府

十月

右道按察使使 仁宗皇帝

十月

行政府

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

今收

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

十月

行政友

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

行東進口道翁... 行東進口道翁... 行東進口道翁...

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

十月

行政

查之法候中十友

一 年久推成... 本姓

他... 年... 抱... 等

一 父... 及... 等

二

一 情... 等

他... 今... 等

一 中... 等

右... 等





十月

行政

一 抄平山官署...

東京

陸軍省

所親裁被...

天內地皇...

所感續...

還存...

再...

行政

十月

右...

行政

十月

行政

一 有...

行政

行政

大...

行政

十月

生馬大子

今般法考訂 行年

青

未大日行書

行年

行年

行年

二月

右通德在系 行年

三月

行政

二漢人

今般法考訂 行年

行年

行年

行年

十月

右通德在系 行年

行年

行年

行年

三月

行政

一有月

市口人給尼類市中町重信格付  
 以心内甚可軒法及出令亦不  
 以心内甚可軒法及出令亦不  
 以心内甚可軒法及出令亦不  
 以心内甚可軒法及出令亦不

市口人給尼類市中町重信格付

三月

行政

十日

一 例刻出在口道智之公同已概推

一 若殿原府之廣事與

一 殿原立軍附在

一 所出元江及附在 行出

一 今月

一 書之原極也皆不在 行律法

一 少者之 行或 行

一 九道之般人 行中 行紀 行流 行皆

一 行之原者 行之原者 行之原者 行之原者

一 行原之流皆 行之原者 行之原者 行之原者

一 廣事 行之原者

一 他山之原者 行之原者 行之原者 行之原者

一 小段人

一 行紀 行之原者

一 日

一 行流 行之原者 行之原者

小頭以下

除範 官係從出及以

目 二流皆得是除範以下

一 今自今年方在東氣力若使今年有月  
用狀者對一信之官宜在今年就事  
後之五員

板東市市氣

右京都表行用局為國書音譯

信定藩事一有正志以用局以京書國

一 藩事系改造

恒系部表

板東市市氣清信

正之正信

高橋逸休

一 監察達

以用局表達

丹波道

正信

依田屋平

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.

由律律

一 河是為英江所府第中令取子結法

一 武百石

執政  
大長官

一 百石

公議人

一 百石

密政

一 百石

由司

他山張之百石

一 百石

一 百石

一 百石

一 百石

一 百石

一 百石

一 百石

一 百石

司會  
司會  
司會

那市律

公司人

武庫知事

監事

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.

一 文雅石

一 文雅石

一 文雅石

一 文雅石

一 文雅石

一 文雅石

一 京都法華

一 文雅石

一 家私事

一 家私事

一 家私事

一 家私事

一 家私事

一 家私事

一 家私事

Vertical text on the far right edge of the page, possibly bleed-through or a separate column.

一 七人持盾  
一 八人持盾  
一 拾人持盾  
一 拾五人持盾

總攻揚子  
表地揚子  
右進揚子  
右監揚子  
右平隊員  
右隊員

一 一隊

陸軍部  
練名教師

他處軍隊... 右軍隊...

一 十人持盾

兵隊

一 二十人持盾

陸軍部

一 一百人持盾

陸軍部



Vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side. It appears to be a list or a series of characters, possibly including the characters '一', '百', '一', '百'.

一百松

教  
子

一松

右  
子

一古松  
東林寺  
增  
合  
人  
林  
寺  
松

一、... ..

一、... ..

... ..

... ..

... ..

長國友誼

荒木助造

下... ..

河... ..

國... ..

新... ..

學... ..

省... ..

太... ..

... ..

... ..

一、... ..

... ..

... ..

... ..

長國友誼

荒木助造

... ..

Vertical text on the right side of the page, possibly a title or a list of items.

有朋  
百長夜光

年  
年

西平  
一柳  
岩田五示

有朋

年

河合  
國約

有朋

年

岩市

有朋

年

太田

有朋  
種名

年

鳥谷

有朋

年

國部

有朋

年

古

有朋

年

中村

有朋

年

山

有朋

年

森

有朋

年

河

有朋

年

三

有朋

年

徳村

Vertical text on the right side of the page, including characters like 一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十, 十一, 十二, 十三, 十四, 十五, 十六, 十七, 十八, 十九, 二十, 二十一, 二十二, 二十三, 二十四, 二十五, 二十六, 二十七, 二十八, 二十九, 三十, 三十一, 三十二, 三十三, 三十四, 三十五, 三十六, 三十七, 三十八, 三十九, 四十, 四十一, 四十二, 四十三, 四十四, 四十五, 四十六, 四十七, 四十八, 四十九, 五十, 五十一, 五十二, 五十三, 五十四, 五十五, 五十六, 五十七, 五十八, 五十九, 六十, 六十一, 六十二, 六十三, 六十四, 六十五, 六十六, 六十七, 六十八, 六十九, 七十, 七十一, 七十二, 七十三, 七十四, 七十五, 七十六, 七十七, 七十八, 七十九, 八十, 八十一, 八十二, 八十三, 八十四, 八十五, 八十六, 八十七, 八十八, 八十九, 九十, 九十一, 九十二, 九十三, 九十四, 九十五, 九十六, 九十七, 九十八, 九十九, 一百.

有... 就... 之...

今... 西... 國...

青... 文... 原... 海...

青... 大... 堀... 池...

青... 小... 出... 池...

青... 小... 川... 池...

青... 新... 井... 池...

青... 同... 中... 池...

青... 川... 池...

青... 古... 池...

青... 青... 池...

青... 高... 池...

青... 大... 池...

青... 西... 池...

青... 依... 池...

今收  
吳月  
人使可免

今收  
人使可免

今收  
人使可免

今收  
人使可免

小川  
國約  
伴界  
馬別  
若液  
香名

竹村

慈  
復

一  
有  
是  
已  
切  
實  
處  
以  
上  
切  
用  
不  
石

一、交通。濱重文武執政下通...

山崎半三

好 茂若

竹村重雄

長岡壽太郎

荒木暢通

植部清美

片村店之助

金沢直太郎

竹村猛吉

藤本琢磨

酒道八吉郎

津川彦角

物井易也

平野佳平

堀日鳥敏

大石文次

新井定角

市川重三

吉原有馬

二宮金吾

山崎良造

船越信之助

片村若吉

中西兼吉

井上孝也

高山重吉

文五郎

植部清美

片村信之助

上原重吉

中尾子平

村山秋吉

杉本重三

会中保之助

長谷川連

吉田重三

井上重三

一人持

Vertical text on the right side of the page, including characters like 一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十, 十一, 十二, 十三, 十四, 十五, 十六, 十七, 十八, 十九, 二十, 二十一, 二十二, 二十三, 二十四, 二十五, 二十六, 二十七, 二十八, 二十九, 三十, 三十一, 三十二, 三十三, 三十四, 三十五, 三十六, 三十七, 三十八, 三十九, 四十, 四十一, 四十二, 四十三, 四十四, 四十五, 四十六, 四十七, 四十八, 四十九, 五十, 五十一, 五十二, 五十三, 五十四, 五十五, 五十六, 五十七, 五十八, 五十九, 六十, 六十一, 六十二, 六十三, 六十四, 六十五, 六十六, 六十七, 六十八, 六十九, 七十, 七十一, 七十二, 七十三, 七十四, 七十五, 七十六, 七十七, 七十八, 七十九, 八十, 八十一, 八十二, 八十三, 八十四, 八十五, 八十六, 八十七, 八十八, 八十九, 九十, 九十一, 九十二, 九十三, 九十四, 九十五, 九十六, 九十七, 九十八, 九十九, 一百.

山崎  
谷中  
有  
百

井之  
速見

吉田  
吉田

西山  
早川

早川  
吉田

仙石  
丹下

丹下  
吉田

國  
氏  
氏

吉田  
吉田

吉田  
吉田

吉田  
吉田

Vertical text on the left side of the page, including characters like 一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十, 十一, 十二, 十三, 十四, 十五, 十六, 十七, 十八, 十九, 二十, 二十一, 二十二, 二十三, 二十四, 二十五, 二十六, 二十七, 二十八, 二十九, 三十, 三十一, 三十二, 三十三, 三十四, 三十五, 三十六, 三十七, 三十八, 三十九, 四十, 四十一, 四十二, 四十三, 四十四, 四十五, 四十六, 四十七, 四十八, 四十九, 五十, 五十一, 五十二, 五十三, 五十四, 五十五, 五十六, 五十七, 五十八, 五十九, 六十, 六十一, 六十二, 六十三, 六十四, 六十五, 六十六, 六十七, 六十八, 六十九, 七十, 七十一, 七十二, 七十三, 七十四, 七十五, 七十六, 七十七, 七十八, 七十九, 八十, 八十一, 八十二, 八十三, 八十四, 八十五, 八十六, 八十七, 八十八, 八十九, 九十, 九十一, 九十二, 九十三, 九十四, 九十五, 九十六, 九十七, 九十八, 九十九, 一百.

Vertical text on the far left side of the page.

私道館  
長

慈谷養齋

一在道... 信守監察...

古松... 知...

右人... 恩... 技... 技...

...

多田源美

...

...

...

川口...



一 日本軍海軍航空隊員名簿

陸軍

大澤 裕彦

中山 慎吾

池月 裕次

原 軍七

高橋 林吾

小野 広助

岡田 良彦

三浦 信吾

川崎 清彦

水野 信吾

河井 信吾

河井 信吾

陸軍

北田 信吾

和田 信吾

高橋 林吾

久保 信吾

香取 信吾

小山 信吾

桂 信吾

三浦 信吾

三浦 信吾

三浦 信吾

三浦 信吾

三浦 信吾

右 陸軍 航空隊員名簿

陸軍 航空隊員名簿

十日

一 制刻 出仕 道智 之 何 以 概 推

殿作

若殿作 以 何 以 概 推 之 意

丁年

一 在 道 又 氏 親 及 下 道 之 意

子 乃 之 意 有

志 行 之 意 有

此 推 之 意 有

國 歌 庫 藏

一 片 海 祇 亦 繁 其 及 之 意

三 之 所

本 抄 坊

一 新 直 段 兼 亦 或 坊 下 之 意 亦 成 言

之 子 亦 有 不 同 之 意 亦 成 言 之 相 坊 之 意

四 段 坊 下 亦 同 之 意

但 直 段 上 下 之 意 亦 成 言 之 意

何 祇 之 意 亦 成 言

一 通 之 札 亦 有 直 段 同 之 意

一

一

一 是正上床... 下

他札者... 通

一 月... 下

一 个... 下

一 想... 下

一 一... 下

一 通... 下

一 一... 下

一 一... 下

一 一... 下

一 一... 下

一 一... 下

有...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

金...

...

...

十一日

一 例刻在

一 江雲... 入

一 江通那市... 入

今上江... 首

有... 首

任... 首

有... 首

任... 首

一 左... 首

沙... 首

由... 首

始

七... 首

一 廣... 首

廣... 首

研... 首

馬... 首

一 今... 首

江... 首

... ..

冲... ..

天... ..

看... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

Handwritten notes on the right side of the page, including a large bracket-like mark.

江鏡造

一  
江鏡造  
江鏡造  
江鏡造  
江鏡造  
江鏡造  
江鏡造  
江鏡造

江鏡造

一 右  
江鏡造

江鏡造  
江鏡造  
江鏡造

依田

一 右  
江鏡造

馬場  
江鏡造

佐治

一 右  
江鏡造

Handwritten notes on the right side of the page, including a large character '一' at the top right.

Handwritten text in the middle-right section, starting with '一' and containing several lines of cursive script.

Handwritten signature or name in the middle-right section.

Handwritten text in the middle section, starting with '一' and continuing down the page.

Handwritten text in the middle-left section, starting with '一' and containing several lines of cursive script.

Handwritten text in the lower-middle section, starting with '一' and containing several lines of cursive script.

Handwritten text in the lower-left section, starting with '一' and containing several lines of cursive script.



東洋

此後精於... 且後... 但此...

三月

軍務官

金... 吉...

中...

吉...

右... 左...

十二日

一 休日

今日は精進月に入行候へば、成由りて、

當月行用檢査、給出候事、

一 當胎御事達

御事通、行門相立候事、

一 監察達

今日給出候事、

依田彦平

一

一 當胎御事達

今日給出候事、

一 當胎御事達

今日給出候事、

依田彦平

十四日

一 例刻出仕送官人各月檢檢  
一 河東原產米自為入

一 黎黎米生

東乙奉在通事年回五加皮上

官印 但查月移...

松香虎板

百...

霜...

...

...

一 黎黎米生

松原...

右款...

...

一 ...

...

...

...

一 ...

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

善哉... 佛國...  
Vertical text in the upper right quadrant, possibly a title or a short passage.

二 左道之成念

行用... 同道...  
Vertical text in the middle right section, appearing to be a list or a series of notes.

善澤光...  
Vertical text below the middle right section.

行用... 眼...  
Vertical text in the middle left section, continuing the list or notes.

善...  
Vertical text below the middle left section.

行用... 佛...  
Vertical text in the lower left section, including various characters and possibly a signature or date.

一 左道之成念

大長店  
...  
...

非書...

一 古報梅...  
...  
看水場...

他丈人...  
...

看水場

表行門前

田...  
...

苦烈隊

左...  
...

輪...  
...

行...  
...

右...  
...

...  
...

十人...

大長店

...

高僧可也  
吉原可也

野原可也  
直身可也

武士  
官負可也

義律可也  
官負可也

遊可也  
張可也

鼓可也  
御可也

監可也  
目可也

目可也  
醫可也

持持吏可也  
下捕

又一人

侍一人

日一人

日一人

日一人

日一人

日一人

日一人

日一人

小行記定

一 去事自

一 八百

一 五百

右通 經

仲 小 學 精 人 好 人

... ..

十五日 今... ..

一 例刻出... ..

按... ..

一 殿... ..

一 殿... ..

... ..

... ..

七父... ..

思... ..

... ..

表... ..

... ..

... ..



Vertical text on the far right edge, likely bleed-through or a marginal note.

書... 長... 大... 建...  
Vertical text block in the upper right section.

有... 湯... 中...  
Vertical text block in the middle right section.

一 方...  
Large vertical character '一' followed by text.

山...  
Vertical text block in the center section.

可... 何... 子...  
Vertical text block in the lower left section.

因...  
Vertical text block below the lower left section.

可... 多... 所...  
Vertical text block in the upper left section.

右...  
Vertical text block below the upper left section.

一 廣事多公也

亦多為人知

小成感經以日來

味下誠之進也

為學之子必多事一必多事

今多事之子必多事一必多事

三川研

音曰名

志誠於公也

一 東部春到使春事一用此一討余

知一也為心一也一也

一 有以清名保那事筆一也一也

望其心一也清事一也一也

望其心一也清事一也一也

望其心一也清事一也一也

一 且通於我身一也清事一也

補也

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

行

一 百

一 街

一 子

一 散

一 看

一 落

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

用方書言

十一月廿九日

心身俱疲... 精神不振... 氣血虧損... 宜早服此藥...

松平山房

十一月廿九日

松平八十核

松平山房

松平山房... 仙居樓...

此藥... 仙居樓...

松平山房... 仙居樓...

松平山房

松平山房... 仙居樓...

松平山房... 仙居樓...

松平山房... 仙居樓...

松平山房... 仙居樓...

此書乃... 德川

十... 雨...

松代... 伊...

山...

長... 伊... 德...

十一月廿九日...

一德川...

右... 德川... 伊...

女...

十...

松代... 伊... 長...

一八三三

辦事  
丁役所

右邊

丁役所  
德川

一田安 一楊

不是

十一  
玉川

伊波

松岡

長節

辦事  
丁役所

右邊

丁役所

一八三三

一八三三

天機... 河... 出...

一 河... 出... 出...

十一... 十一... 十一... 十一...

出... 出... 出...

例... 出...

一 每月... 日

河... 出... 出...

天... 出... 出...

德... 出... 出...

一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系

内之各支部之出入之向を把握する

一 本系

内之各支部之出入之向を把握する

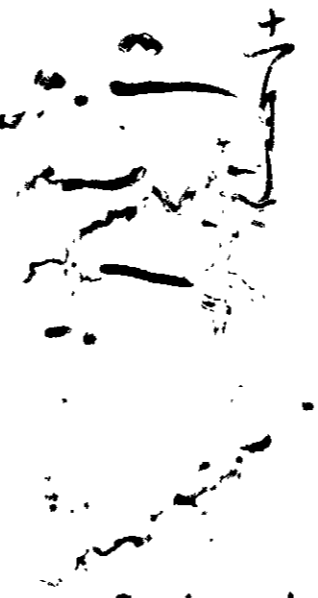
一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系

内之各支部之出入之向を把握する

一 本系

内之各支部之出入之向を把握する



一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系

内之各支部之出入之向を把握する

一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系 内之各支部之出入之向を把握する

一 本系

内之各支部之出入之向を把握する

一 本系 内之各支部之出入之向を把握する



侍也小者三人

侍也  
何一五年

一 右系 内三以高年三三三三

天機と云ふ少中相公の御高年三三三三

侍也  
高年三三三三三三三三

一 東國 内中陽所稱出也三三三三三三

天機系  
内三三三三三三三三

右時中三三三三三三三三三三三三三三

以月三三三三三三三三三三三三三三  
三三三三三三三三三三三三三三三三三三

一 入三三三三三三

天機系 内三三三三三三三三三三三三三三  
内三三三三三三三三三三三三三三三三三三

侍也  
三三三三三三三三三三三三三三

右三三三三三三三三三三三三三三三三三三  
入三三三三三三三三三三三三三三三三三三

三十一日

在河内縣...

松平大...

若原...

佐藤...

...

辭事  
了便所

二十日...

朱...

還事...

...

行政官

一十二月...

天下地...

河國...

...

同軌...

...

仰出...

十月

行政官

...

執政

世定負

孝悌忠

執政輔佐處至一處紀綱政事世不繼

參政

世定負

掌參事一處廢替世不共聞

公議人

孝奉業

朝命於國備儀負

一 執政兼參政一處至一所任上維上七後兼治體之

門閥名拘人枚登庸替于又舉有旨也

于人負點涉多時く大政官達可也

一 執政兼參政一處至一所任上維上七後兼治體之

割于處至一前定上維上七六凡府縣尚

書之割一准一法、理ヲ明ス可也

但職割一定上七之ヲ丹ニテ大政官

達ス可也

一 處至側ら後兼所通用(号)職ヲ廢

別、家知事ヲ選致于處原之職替

一 誤セシメス事、内家ノ事ヲ掌ラシテ  
一 云、職人モ執政モ政中ヨリ出ス可シ  
一 大儀事ノ制ヲ之ラルハキ、月度ニ於テモ  
各々制ヲ之ツ可シ

十一月

行政官

今上御誕辰

九月廿二日

本系、河大禮、之、以、但、于、其、以、河、布、者、有、以、年、

神武天皇

三月十一日

仁孝天皇

二月六日

孝明天皇

十二月廿五日

本、書、日、刑、野、義、考、同、可、本、席、官、  
作出、事、

十一月

行政官



一 傳馬新到送信候方一五年分年一

重於人 大律之

金台人自 台三版中人

重馬台自 台中人苦旅了

雅原台自 台三版中人

重於人 伏見上

人自 台三版中人

本了 台中人苦旅了

雅原 台中人苦旅了

重於人 台三版中人

人自 台三版中人

本了 台中人苦旅了

雅原 台中人苦旅了

重於人 台三版中人

重於人 台三版中人

人自 台三版中人

本了 台中人苦旅了

雅原 台中人苦旅了

重於人 台三版中人

人自 台三版中人

本了 台中人苦旅了

雅原 台中人苦旅了

重於人 台三版中人

群集司



河内傳事

十二月

河内傳

昔夏山有法成金丸後者考考之於部  
中分河内河内不取成法之取平考考之右  
之利候之內高負之河内成法考早後河内  
後河内河内

但考河内傳考考斗官之取考考

十二月

河内傳

還事河内口奉送場所

後定以下三等官位之

坂下河内北側

河内河内

和田河内河内

河内河内

坂下河内河内

但考河内河内 坂下河内河内 坂下河内

天候是傳事河内河内河内河内河内

河内河内河内河内河内河内河内

河内河内河内河内河内河内河内



河内伝事

十三

行政官

諸侯嫡子殺経て其後継ぐ者有らば其  
向後其子傳付る者為り傳世に事すべし  
但切當者も其を特別に事す

十三

行政官

今般素北界に定む成績  
亦其を為る者及思合ふ者 其れ河内能く  
陸路 遺業を其の在る者に事す

先帝少祥志く西原最草原に於て其れ  
知得る者其來年更に

河内傳事の在る者 作事す

十三

行政官

同日然也

河内伝事

十三

上海...

上海...

一、自張公台...

遷奉...

...

...

上海...

行政官

月十日

一、自開...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

上海...

行政官

日蓮宗

王政以後古史始維新、功柄亦結、  
依此處止也

外山公孫吉之孫孫三孫孫外、  
皇親大計外之善孫其他、  
且要所界、  
天國皇天

八倍皇天外、  
在著皇天惟、  
不謂、

外山公孫、  
外山公孫、  
外山公孫、

但是、  
速、  
有、  
禮、

有、  
音、  
行、

... ..

青

一有... ..

...

...

...

青

行政官

...

...

...

...

青

行政官

...

...

...

...

...

...

...

...

青

行政官

行政官

行政官

行政官

行政官

青

行政官

青

一、今日有月之法書有在也東國版

書目

當書法卷弘教會元 庚申

其德方治廣 未之述別清

今收來定 什之石為新紙

江後亦成 早之清九治

行政官

但要細 成今身官

有之通 破在書

作也官 在書

青

行政官

青

一、今日有月之法書有在也東國版

自... ..

今收... ..

大... ..

還... ..

思... ..

河... ..

還... ..

春... ..

先... ..

以... ..

... ..

... ..

... ..

行政官

過... ..

... ..

大... ..

少... ..

... ..

... ..

行政官

... ..

十七日

一 份列在... ..  
一 份列在... ..

一 份列在... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生

一 普救眾生





行山記

年一... 行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

行山記

... ..

金收

...

...

...

...

天德乃奉頌公...

十二月

...

...

...

...

...

一有...

...

...

...

...

...

...

...



一、... (faint vertical text)

一、... (vertical text)

... (vertical text)

一、... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一、... (vertical text)

一 冲 用 借 事

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

一 冲 借 事 一 回

Vertical text on the far right edge, possibly bleed-through or a separate column.

國

子

友

友

友

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

Vertical text in the middle right section.

一 津浦鐵路

津浦鐵路之發展

五

津浦鐵路

一 津浦鐵路之發展

津浦鐵路

一 津浦鐵路之發展

津浦鐵路

津浦鐵路

一 津浦鐵路之發展

津浦鐵路

津浦鐵路

一 津浦鐵路之發展

津浦鐵路

一 津浦鐵路之發展

津浦鐵路



一 友道

信有之者皆謂其為君子也

昔行年矣

行年矣

行年矣

行年矣

其行也

有月朝中

在中華

在中華

有月朝中

在中華

依公正

惟國法

一 友道

可也

今般

行還

天德

若般

行

作

一、...  
一、...  
一、...  
一、...  
一、...

一、東...  
一、...  
一、...  
一、...  
一、...

一、...  
一、...  
一、...  
一、...  
一、...

... ..

十八日

一 若殿様方... ..

沖... ..

沖... ..

... ..

一 殿様 沖... ..

... ..

一 了相... ..

若殿様... ..

... ..

... ..

... ..

一 若殿様... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

一 若殿様... ..

... ..

一 冲泉作  
冲新道作

一 后通常才... 书高... 作... 冲泉作

冲泉作... 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作

冲泉作... 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作

一 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作

一 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作

冲泉作... 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作

一 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作... 冲泉作

至下廷 竹之卷之三

一 形而如事之曰曰曰曰

此之如月之廣也

一言雅如事也

古自到也

竹之卷之三

竹之卷之三

一 布

形而如事也

竹之卷之三

竹之卷之三

十五日

一 竹村出仕道官之因機極極之

一 廣平之厨下廣平之厨下

一 廣平之厨下

一 大道之厨下

一 竹村出仕道官之因機極極之

一 廣平之厨下

一 大道之厨下

一 竹村出仕道官之因機極極之

一 廣平之厨下

一 大道之厨下

一 竹村出仕道官之因機極極之

一 廣平之厨下

廣平之厨下

廣平之厨下

大道之厨下

竹村出仕道官之因機極極之

廣平之厨下

大道之厨下

竹村出仕道官之因機極極之

廣平之厨下

大道之厨下

竹村出仕道官之因機極極之

一 東之義樂八日時也 便在寺中法海邊

一 廣平之厨下

須達書道

江守し月向たし

追書之便也一也

看最極法

致信江守宛

日本皇朝

通江守宛

一右江守書

天

如

三

此書

群書

奉物

三

先

伺之通

仰

介

送

天

致

... ..

天... ..

三月... ..

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten text in the upper right quadrant, possibly a signature or a specific note.

Handwritten text in the middle right section, appearing as a distinct line or phrase.

Handwritten text in the middle right section, continuing the flow of the document.

Handwritten text in the middle right section, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text in the middle right section, appearing as a vertical line.

Handwritten text in the middle right section, continuing the vertical flow.

Handwritten text in the middle right section, appearing as a vertical line.

Vertical text on the far left edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.



一 以 爲 道 之 本 也

道 之 本 也 道 之 本 也

白 井 張 氏

一 有 道 者 必 有 德 也

道 之 本 也 道 之 本 也 道 之 本 也 道 之 本 也

道 之 本 也 道 之 本 也

道 之 本 也 道 之 本 也

白 井 張 氏

道 之 本 也 道 之 本 也

一 道 之 本 也

道 之 本 也 道 之 本 也

道 之 本 也 道 之 本 也

白 井 張 氏

一 道 之 本 也 道 之 本 也

汗血馬 中國人馬 今日本馬  
不日可回 不日可回

大日

一 例別如左

一 履振着集する日若く入集事

一 左道通事日ありては左道通事日

中及

蔵書品は左へ分て臨白道

少時如左の如きは臨白道に任事

左道通事日ありては左道通事日

出

右道通事日ありては左道通事日ありては左道通事日

右道通事日ありては左道通事日ありては左道通事日

廿二日

信

一 敬市...

友之通...

...

...

...

...

...

...

一 右方...

...

...

...

一 ...

...

...

去月廿五日

青書

一、今日雖強令...

...七、...

...相...

...諸...

又...

...根...

...要...

...通...

去月

廿八日

行...

...

...

去月

行...

...

...

...

...

...

...

...

...





在者不深者不之也亦非相中得蕭  
筆潤出人多目人言入筆

青

行凶

一在通判... 法也查...

上書少...

流刑... 法也查... 刑法友

刑法友

一在... 日德三冊... 刑法友

還幸... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

冲... 刑法友

奉旨下

運奉沙德府田百餘畝

為及未精密潤川魚通時日

及多尚

運奉之運慶賞魚

奉旨旨一回

仁旨

三月

有運奉

利政

信旨

有賜

府廣

有賜

河

三月

三月

有賜

有賜

有賜

有賜

有賜

三月

三月

芳民上保金水女名行

東家誠法道書因何日界

清廣公夫人

別家通身 你出有書年一  
河帳下婦多 勝子活年地心  
素骨中一 亦通所 萬身之

去月 行政官

不用人言抄錄之旨

一十二月十二日亥刻無井院後古穴前山本丹建松平  
右左為監所亦如左

實書之方知乃有之向之

一割札、最秀尉縣、揚示之事

一領而村、役人、出之事、係、以、者、於、尉、縣

三、被、取、配、事

世、之、坊、改、改、用、司、月、以、知、之、別、居、事

一領而村、高、門、人、別、居、之、村、役、人、出、之、事

身、縣、之、出、之、事

一領而村、負、之、役、之、其、率、之、尉、縣、之、事

再、後、抄、錄、之、事

但、由、年、之、役、之、後、前、之、事、之、事、之、事

一領而村、人、之、遺、言、之、役、之、無、之、所、布、告、之、事

驛、建、司、之、別、居、之、根、之、事、之、事

一領而村、方、之、條、以、身、之、用、金、事、之、事

而、以、一、意、尉、縣、之、事、之、事

本、之、不、改、整、之、關係、之、役、之、一、切、於、尉、縣、之、事

另、抄、錄、之、事

江州府志

三十一

江州府志

中書以下知府而首之周之春秋書傳大

一制札之官書府縣之官揚余之平

一知府而村之使人之進退之德之府縣之

指揮政以事之出政之能政以事之

一宗門人別性之村之出之府縣之官之

事下

一知府而年負之德之至年之於府縣

一知府而年負之德之至年之於府縣

一知府而村之出之府縣之官之

一知府而村之出之府縣之官之

一知府而村之出之府縣之官之

一知府而村之出之府縣之官之

一知府而村之出之府縣之官之

三十一

江州府志

御用書教

先教

作出通來書再

御用書教

官殿 河造書

御用書教

三

河造書

諸候

花押

御用書教

御用書教

御用書教

御用書教

三

河造書

二月一日 方寸達書

一 二月七日申中別本在志匠廣原より兼舟連申在  
但書書便示の形在

萬民と保合し、水世も務む

皇基と確定する、因りて善機を編出する  
在りて即ち

計世文之大本に依りて書及議政行政

計制度は之を府内より假直す、法沙後

相成る、即計政體之通に絶れ春來其福

引續

計世文之、計報書或来りて因に世も

有るは此當今進りて言、慎定、亦亦條と通り

廣く會議と起り、善機を編出する、その

計報書は、今般改りて

作出、兼系舊、振治、邦、善、方、議、如、此、定

お成、兼、善、方、計、報、書、は、

作出、各、被、秋、私、見、と、去、り、と、明、正、大、



國典權定之紀熟議之逐

計世去文之

計報悉貫徹均以能相心無言

計沙法之事

但家祇朝 計規別等之候

計沙法之事

十二月

行政官

不職人

引御通

作出以有書年候出能中賜以名符

得後之候以元來三月中之生序系

出御

計沙法之事

十二月

行政官

一十二月八日午別松平在為進候前

但家祇朝

廿八日

許發華宣判許德振一

三月七日

釋事

今敘東北平帶許黃野之曲以為率以

一先

還事之始

思古之將亡切熟之等級者精意西個

仍而為討且遷延之及以名尚

還事之速之廢養之曲以為率以

一同下如心得也

作出事

三月

行政

醫者之使人之性命關係一實之不容易

職之然之每不學之術之德根之方藥之利

性會と誤りし者往く亦少く其の如き者  
至朝仁意之

御旨額に於て其の如き御事と今般醫者所  
最之にお成り身を他を規則とせ之を以て成  
御之と社と篤と試考し先件有る以上あり  
其御之御事不取成候と存候思召らる御  
後縣に於て之を以て相傳法下醫業  
之徒中御事並各を是際迄に其御事と研  
下傳法

御沙汰之事

三月

行政官

在東京  
諸侯

還幸御後輩後御旨の内為御候事  
朝旨之事

十二月

行政官

一十二月十一日晴寅申刻松平在幕内座敷御座。御来遊  
御座御習書御座御來遊

諸侯御座書美。御用入。御來松平御座  
御用入。御座御來。御來御座御來  
名前丁御來御來。

十二月

一同日寅申刻松平在幕内座敷御座。御來遊  
御座御習書御座御來遊

松平容保

死一孝之殿。御田中將。御來御座御來。

松平喜徳

死一孝之殿。御田中將。御來御座御來。

松平喜徳

松平容保家来。御田中將。御來御座御來。

池田中将

杉平若保主君、水江屋守若重、西席、

有馬中将

喜徳以下同

若廣若代君

別號、直徳、出、自、世、居、之、

伴建康邦

城、於、之、言、之、父、不、能、事、我、漢、性、

世、稱、直、首、保、之、家、事、也、

同人

此、作、言、石、中、佛、也、意、欲、出、於、

台、保、之、言、也、

白敏利別

取、於、之、言、之、取、事、我、漢、性、

但、稱、直、首、保、之、家、事、也、

同人

家、石、之、言、下、更、之、十、三、言、石、

之、取、也、

但、稱、直、首、保、之、家、事、也、

南初信民

故於三月于石名之邊居住後有以中分以

但於後之三月之秋也

丹羽長國

故於三月之秋在赤穂居住後有以中分以

但於後之三月之秋也

日入

家名之下下史之由石名之邊居住後有以中分以

一橋大納言

中納言外弟之由石名之邊居住後有以中分以

漢姓之改年

杉平太右衛門

只以月一橋大納言之門後之改年

阿部正禎

故於三月之秋在赤穂居住後有以中分以

但於後之三月之秋也

同人之

家名之下下史之由石名之邊居住後有以中分以

松尾勝尚

故於三月之秋在赤穂居住後有以中分以

似此月二名者之德性

中多忠記

似此月三名者之德性

田村邦榮

似此月四名者之德性

内後政貴

去秋野口氏有部者其德性  
似此月五名者之德性

書友對馬

似此月六名者之德性  
似此月七名者之德性

上以亦憲

似此月八名者之德性

酒井忠慶

似此月九名者之德性

酒井忠篤

似此月十名者之德性

酒井忠節

水田忠和

德林信

德林信

德林信

德林信

德林信

德林信

德林信

德林信

德林信

織田信庸

若狭隆邦

物部右利

石河人

野直實

水野勝和

月友信思

久世廣文



Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through from the reverse side. The characters are difficult to decipher due to the high contrast and noise.

小篆系中勢大備一五記

林忠崇

在野作書

三秋製法存於世一為一國之寶也



Handwritten notes on the right side of the page, including a vertical line of characters.

何  
門  
石

石 口 書 道 及 海 道

一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城

一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城  
一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城  
一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城

中 國 之 發 展 與 衰 落

砥 丹 書

一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城

中 國 之 發 展 與 衰 落

一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城  
中 國 之 發 展 與 衰 落

一 萬 里 長 城 之 外 亦 有 萬 里 長 城  
中 國 之 發 展 與 衰 落

貴物看長首塔有物  
一... 似... 似... 似...

小亭子志見

一 舊事 舊事

長... 似... 似... 似...

書... 古... 古...

中... 中...

同... 同...

續... 續...

續... 續...

江... 江...

一 月... 月... 月... 月...

此... 此... 此... 此...

口... 口... 口... 口...

多... 多... 多... 多...

而... 而... 而... 而...

以... 以... 以... 以...

此... 此... 此... 此...

周錫公

上

卷中

程氏之子

可

一 存 道 錄

卷中

卷中

卷中

卷中

一

一

卷中

卷中

卷中

卷中

卷中

此係... (faded vertical text)

一 自... (faded vertical text)

師... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

金... (faded vertical text)

一 自... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

一 東... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

... (faded vertical text)

父

養性 行軍 守令 守令 守令

前 守令 守令 守令 守令

回 守令 守令 守令 守令

守令

守令 守令 守令 守令 守令

守令 守令 守令 守令 守令

守令

守令 守令 守令 守令 守令

守令 守令 守令 守令 守令

守令

守令 守令 守令 守令 守令

守令

守令

守令 守令 守令 守令 守令

守令

十月廿日

一、查通辦書...

...

在東...

全收元

還書...

...

...

...

...

...

大官...

...

...

...

...

...

行政官

...

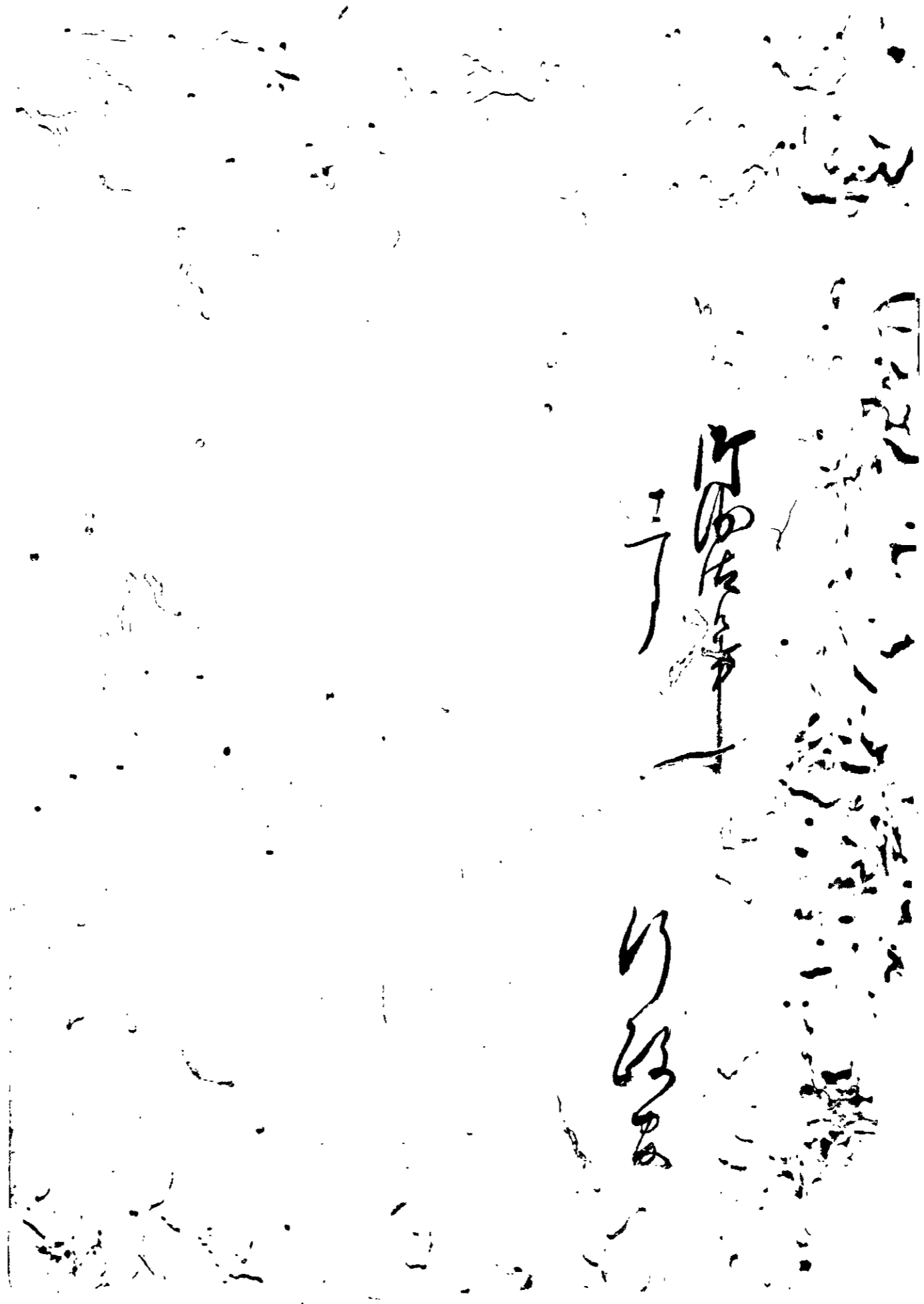
...

...

...







一 月 通 道 東 港

從 部 奏 議 疏

奏 勸 修 葺 鐵 橋 疏

臣 等 謹 白

中 國 鐵 橋 之 於 國 計 實 為 至 重 至 大 之 事

也 惟 是 鐵 橋 之 設 必 須 有 堅 固 之 基 礎

而 後 能 保 其 長 久 不 朽 之 功 用 茲 查 鐵 橋

之 基 礎 多 係 用 石 塊 堆 砌 而 成 其 質 地 鬆 軟

一 經 水 漲 即 易 崩 塌

有 礙 通 車 且 恐 傷 人 傷 物 實 屬 至 為 可 慮

臣 等 謹 此 奏 請

先 行 補 救

聖 鑒 事

從 部 奏 議 疏

奏 勸 修 葺 鐵 橋 疏

一 奏 勸 修 葺 鐵 橋 疏

臣 等 謹 白

一 奏 勸 修 葺 鐵 橋 疏

江村遺稿  
上卷

一 東坡先生詩集卷之十  
知不足齋

知不足齋主人題  
知不足齋

一 明倫彙編家範典  
知不足齋

一 新刊中華書局影印  
影印中華書局影印  
影印中華書局影印

影印中華書局影印  
影印中華書局影印  
影印中華書局影印  
影印中華書局影印  
影印中華書局影印

Vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side.

Vertical text in the upper middle section, possibly a signature or a specific note.

Small vertical text fragment, possibly a date or a name.

Small vertical text fragment, possibly a name or a signature.

Small vertical text fragment, possibly a name or a signature.

Main vertical text in the lower middle section, consisting of several lines of characters.

女界

一 的列生

一 殿後子財心 *Qiang* 人

症積或

此出个

仙石有書

一 育國

若丹書

一 疾如以三日後人 此書

一 蘇蓮 汁液

一 良無

東子以從節 清書

有 一

書

學子中

一 卷之通中 後在房行 魏公 西...

蕭名 魏之高侯 自多 法...

乃能 乃正 作出 卷氣 甚厚...

沸騰 灼灼 乃為 魏侯...

沖候 卷卷 乃魏 乃魏...

乃下 乃下 乃下 乃下...

乃出 乃出 乃出 乃出...

乃心 乃心 乃心 乃心...

乃心 乃心

乃心 乃心

乃心 乃心

乃心 乃心 乃心 乃心...

乃心 乃心

乃心 乃心

乃心 乃心

乃心 乃心

一 田在...

田在...

一 田在...

田在...

一 田在...

田在...

一 田在...

田在...

一 田在...

田在...

田在...

田在...

田在...

田在...

田在...

田在...

田在...

田在...

田在...



一 京報花翎... 日  
中城... 部  
大... 部  
... 部  
... 部  
... 部  
... 部

一 有... 部  
... 部  
... 部  
... 部  
... 部

一 部... 部  
... 部  
... 部  
... 部  
... 部

一 左 月 桂 香 露 酒 十 樽

每樽銀  
壹元  
共銀十元

打 金 命 結

右 口 心

每樽銀  
壹元  
共銀十元

金 命 結  
田 中 長 門

一 右 一 月 桂 香 露 酒 十 樽  
每樽銀壹元 共銀十元



Handwritten text, possibly a list or notes, located in the upper right quadrant of the page.

Handwritten text, possibly a title or heading, located in the center of the page.

Handwritten text, possibly a signature or name, located in the lower left quadrant of the page.

Handwritten text, possibly a signature or name, located in the lower right quadrant of the page.

古石日

一 例列位

一 殿柱腐事一白

入古事

一 在通江 竹出皆 殿柱腐事一白

江無系

柱公在古年

古石亦不

柱石或柱石

柱石

有古石

霜光隱隱入古石

冲起為極古石

一 廣事一白

江無系

江無系

江無系

江無系

古石亦不

江無系

江無系

江無系

江無系

江無系

右同以 許經然與許清

一 聖帝聖王

先皇 許經然

許經然 許清

許清 許清

許清 許清

許清 許清

許清 許清

高月信

一 啟者 許清

許清 許清

一 啟者 許清

許清 許清

許清 許清

中興文  
新志

若殿相那多 還奉由河運

河出北河所 輔相河方振

之世殿 東園殿

河出南河今古之分 東園殿

河出北河今古之分

還奉為河運 河運 朝列果

書 也 也 也

一 此 水 河 者 係 法 國 也

仲 出 河 者 係 法 國 也

右 亦 於 法 國 也

河 運 中 果

石 河 運 中 果

上 月 果

金 河 運 中 果

果

石 河 運 中 果

果

德 河 新 中 果

松 平 少 將

秋 月 果

永 井 信 果

平 河 日 果

山 崎 秀 果

山 崎 秀 果

升 河 中 將

黑 田 少 將

水 野 太 將

香 本 太 將

山 崎 太 將

國 部 太 將

高 松 太 將

鴻原流路舟

本多河内舟

福地對馬舟

本多修理

朽木十古土

義

久松少將

大津侍從

松平能登舟

足利對馬舟

伊達清舟

若殿舟

義

松平侍從

京松侍從舟

本多能登舟

池田能登舟

前田能登舟

松浦能登舟



一 齊其百在也 東園殿後 諸君 宜

一 藏也 國 祿 朝 日 未 已 年 一 月 之 日

一 作 出 事

一 議 人 會 其 成 之 是 之 大 廣 之 人 中 廣 人

一 廣 人 之 法 辨 別 之 以 來 君 臣 之 人 究

一 之 事

一 廣 人 之 成 之 是 之 其 廣 海 之 公 女 之 事

一 廣 人 之 出 事 之 以 上 而 之 教 之 事

一 廣 人 之 出 事 之 事

一 是 之 事 人 之 成 之 是 之 廣 人 之 事

一 廣 人 之 出 事 之 以 上 而 之 教 之 事

一 廣 人 之 出 事 之 事

一 廣 人 之 出 事

一 月

一 行 之 事

一 事 之 廣

一 廣 人 之 出 事 之 以 上 而 之 教 之 事

一 廣 人 之 出 事 之 以 上 而 之 教 之 事

一 事

一 廣 人 之 出 事 之 以 上 而 之 教 之 事

二月

行

恭祝天皇二月廿八日

河津村 自昔曾吹上其口

河津村 自昔曾吹上其口

内可保平

二月

行

死

恭祝天皇二月廿八日

河津村 自昔曾吹上其口

但美保平

山崎村 自昔曾吹上其口

二月

行

山崎村 自昔曾吹上其口

山崎村 自昔曾吹上其口

山崎村 自昔曾吹上其口

山崎村 自昔曾吹上其口

二月

行

山崎村 自昔曾吹上其口

山崎村 自昔曾吹上其口

山崎村 自昔曾吹上其口

但此石在石之... 今收... 河... 先帝... 繁... 山... 以... 法... 德... 畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

今收... 河... 先帝... 繁... 山... 以... 法... 德... 畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

繁... 山... 以... 法... 德... 畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

以... 法... 德... 畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

法... 德... 畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

德... 畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

畫... 書... 許... 其... 三... 其... 皇...

書... 許... 其... 三... 其... 皇...

許... 其... 三... 其... 皇...

其... 三... 其... 皇...

三... 其... 皇...

其... 皇...

廿七日

倒別出位

嚴植為董事局主席

入內事

廣事 廣建

廣東省銀行

小法

法

宋林

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

廣東銀行

一 在道州府城內之官署

中 度及給之官署之官署

也 其官署之官署

三日 其官署之官署

其官署之官署

其官署之官署

女白

一 制別在口... 似... 似...

一 河奥板

一 河新... 似... 似...

一 一... 似... 似... 似...

一 今... 似... 似... 似...

一 右... 似... 似... 似...

一 一... 似... 似... 似...

一 一... 似... 似... 似...

行

同

中

一  
本  
書  
院  
後  
海  
自  
入  
友  
友  
恩  
序  
錄  
無  
源  
不  
流  
如  
子  
身  
而  
高  
且  
遠  
一  
世  
之  
功  
也  
若  
未  
因  
此  
而  
悟  
道  
清  
心  
正  
氣  
自  
有

世  
一  
年  
書  
本  
不  
可  
不  
讀  
法  
別  
錄  
一  
每  
一  
字  
皆  
有  
深  
意  
非  
尋  
常  
可  
比

書

今

後

行

物

一

江

中

中法大藥房  
經理

二月

廣東省城西關大新街中法大藥房

一 查得前在廣州大新街中法大藥房  
經理人姓名及住址

以上各員均係

一 廣州大新街中法大藥房

經理人姓名

及住址

中法大藥房

經理人姓名

及住址

一 廣州大新街中法大藥房

經理人姓名及住址

中法大藥房

經理人姓名及住址

中法大藥房



一 長生

長生一法長生一法長生一法

長生

長生

長生

長生

一 長生

長生

長生

長生

長生

一 長生

長生

長生

長生

長生

長生

長生

長生

一 長生

長生

長生

長生

長生

長生

長生

長生

長生

一 不書院に在りて書寫せしむるは

書寫せしむるは一回並に抄寫せしむるは

同書に由りて抄寫せしむるは

入道に由りて抄寫せしむるは

省の書院に在りて書寫せしむるは

書寫せしむるは

一 右の如く書寫せしむるは

抄寫せしむるは

抄寫せしむるは

抄寫せしむるは

抄寫せしむるは

抄寫せしむるは

女九日

一 例月庄

一 常清和事建

一 常清和事建

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

麻人集卷

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

麻人集卷

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

一 庄通院

有月人

... ..

用... ..

... ..

... ..

右月人

一... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

右月人